

報告第 2 号

議員定数・議員報酬調査特別委員会結果報告について

議員定数・議員報酬調査特別委員長から、別紙により報告があったので提出する。

令和 7 年 3 月 3 日提出

上富良野町議会議長 中 澤 良 隆

議員定数・議員報酬調査特別委員会調査報告書

本特別委員会の事務調査として、調査した事件について、調査の経過及び結果を会議規則第 77 条の規定により報告する。

令和 7 年 2 月 10 日

上富良野町議会議長 中 澤 良 隆 様

議員定数・議員報酬調査特別委員会
委員長 岡 本 康 裕

記

1 事件名 議員定数・議員報酬調査特別委員会調査

2 調査の経過

令和 5 年 9 月 6 日上富良野町議会議長より議会運営委員長に対し、議会活性化の推進についての諮問があり、その調査検討項目に「議員定数・議員報酬について」が示され、第 1 期上富良野町議会活性化推進計画の取組を踏まえ、更に進展させ「より身近で開かれた議会」にするため、議会活性化・議会改革に取り組んでいくこととされた。

このことから令和 6 年 6 月 13 日開会の第 2 回定例会において、議員定数・議員報酬調査特別委員会の設置に関する決議がされ、その後、調査特別委員会を 8 回開催（別表 1）し、議員定数・議員報酬について調査検討を行った。

3 特別委員会の委員構成（委員 13 名）

委員長	岡 本 康 裕		
副委員長	小 林 啓 太	荒 生 博 一	
委員	佐 藤 大 輔	委 員	湯 川 千 悦 子
〃	米 沢 義 英	〃	金 子 益 三
〃	林 敬 永	〃	茶 谷 朋 弘
〃	中 瀬 実	〃	島 田 政 志
〃	井 村 悦 丈	〃	北 條 隆 男

4 調査の報告

1 議員定数について

(1) 町村議会の議員定数の状況について

全国町村議会議長会が毎年度実施する実態調査（令和5年7月1日現在）による全国等の状況は表1のとおりである。

全国平均は11.7人、全道平均は10.7人、上川管内は10.0人となっている。

全道区分C（人口1万人以上～1万5千人未満）は11自治体、13.9人で、区分B（人口5千人以上～1万人未満）は33自治体、11.8人となっている。

また、富良野沿線市町村議会の状況は表2のとおりである。

表1 町村議会の議員定数の全国等の状況					
(単位：人)					
	町村数	人口 (平均)	議員定数 (平均)	議員定数 当り人口	備考
上富良野町	1	10,024	14	716	
全 国	926	11,240	11.7	963	人口1万人未満が 約6割
全 道	144	6,151	10.7	576	
全道区分C	11	12,141	13.9	873	人口1万人以上～ 1万5千人未満
全道区分B	33	6,876	11.8	582	人口5千人以上～ 1万人未満
上川管内	19	4,427	10.0	443	

表2 富良野沿線市町村議会の議員定数（令和6年12月31日現在）					
(単位：人)					
	上富良野町	中富良野町	南富良野町	占冠村	富良野市
議員定数	14	10	8	8	16
人 口	9,706	4,486	2,236	1,590	19,622

(2) 住民の意見について

本調査においては、住民の意見を参考にするため「議会に関するアンケート」（実施期間 R6. 10. 1～R6. 11. 15、回答 260 件）を行うとともに、「議会懇談会」は「議員定数と報酬について」をテーマとして開催し（開催日 R6. 11. 6、出席者 40 名）、それぞれ貴重な意見を徴した。

議会に関するアンケートの「議員定数 14 名について」の問いの結果は表3のとおりで、「多い」203 件 78.4%がトップで、次いで「現状で良い」が 39 件 15.1%となった。

議会に関するアンケート及び議会懇談会で徴した意見要旨は資料編のとおり。

表 3 議会に関するアンケート集計			
質問項目	回答数	計	構成率
【1】現在の議員定数(14名)についてどう思いますか？			
現状で良い	39	259	15.1%
多い	203		78.4%
少ない	4		1.5%
分からない	13		5.0%
【2】上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックをつけてください。(複数回答可)			
人口が減少している	178	684	26.0%
財政面を考えて	100		14.6%
立候補者が少ない	43		6.3%
幅広い住民意見が反映されなくなる	25		3.7%
多様な人材確保が必要	37		5.4%
議員の資質に疑問を感じる	121		17.7%
議会の弱体化に繋がる	18		2.6%
議員の活動が分からない	99		14.5%
複雑な行政課題に対応する	22		3.2%
その他	41		6.0%

(3) 議員定数についてのまとめ

特別委員会は8回開催するほか、議員間討議を深めるため常任委員会等の開催時に意見を交わしてきた。また、今特別委員会では、調査検討の参考にするよう住民の意見を徴してきた。

それらを踏まえた上での議員定数に関する委員の見解の方向性として、議員定数を減とすることは約8割、現状維持等は約2割となった。

議員定数を減とする意見として、アンケート等住民意見の尊重、人口減少下に対応、議会への関心を高めるなどがある。

議員定数を現状維持等とする意見として、なり手不足下で若者等の参加機会として対応、極端な人口減少下になく住民意見を反映する定数が必要、委員会等の運営に一定の人数は必要などがある。

現在の議員定数14名を減とする方向性が多勢となったが、具体の定数(減数)については複数の意見(2～4名の減)があり結論には至っておらず、常任委員会のあり方も含め、今後更に議論していくことが必要である。

2 議員報酬について

(1) 町村議会の議員報酬の状況について

全国町村議会議長会が毎年度実施する実態調査（令和5年7月1日現在）による全国等の状況は表4のとおりである。

全国平均の議員報酬は218,218円、全道平均は184,799円で、全道区分C（人口1万人以上～1万5千人未満）は11自治体、226,329円で、上富良野町も調査時点においてこの区分に属する。区分B（人口5千人以上～1万人未満）は33自治体、190,188円となっている。また、上川管内平均は167,621円で全道14振興局の中で最下位となっている。

また、富良野沿線市町村議会の状況は表5、全国等の議会議員報酬・首長給料の状況は表6のとおりである。

このような実態を踏まえ、全国町村議会議長会、全道町村議会議長会では、「議会・議員の活動内容を踏まえた原価方式」による議員報酬の算定方法を全国展開している。（これに呼応した全国町村議会議長会等の決議等は資料編のとおり）

表4 町村議会の議員報酬の全国等の状況			
(単位：円)			
区分	報酬額	上富良野町との比較額	備 考
上富良野町	179,000		
全 国	218,218	39,218	
全 道	184,799	5,799	93位/144町村
全道区分C	226,329	47,329	人口1万人以上～1万5千人未満
全道区分B	190,188	11,188	人口5千人以上～1万人未満
上 川 管 内	167,621	▲11,379	上川管内の平均額は、全道14振興局の中で最下位

表5 富良野沿線市町村議会議員定数・報酬（令和6年12月31日現在）					
(単位：円・人)					
	上富良野町	中富良野町	南富良野町	占冠村	富良野市
議員報酬	179,000	200,000	200,000	140,000	310,000
人 口	9,706	4,486	2,236	1,590	19,622
※中富良野町の議員報酬額は令和7年4月1日施行					

表 6 議会議員報酬、首長給料の状況 (単位：円)					
区分	議員報酬		首長給料		備考
都道府県	議員	812,881	知事	1,198,785	R4 全国平均
市	議員	408,153	市長	873,566	R4 全国平均
町村（全国）	議員	216,665	町長	722,967	R4 全国平均
町村（北海道）	議員	184,798	町長	739,722	R5. 7. 1 現在平均
町村（上川管内）	議員	167,621	町長	704,631	R5. 7. 1 現在平均
町村（上富良野）	議員	179,000	町長	750,000	

（２）住民の意見について

本調査においては、住民の意見を参考にするため「議会に関するアンケート」（実施期間 R6. 10. 1～R6. 11. 15、回答 260 件）を行うとともに、「議会懇談会」は「議員定数と報酬について」をテーマとして開催し（開催日 R6. 11. 6、出席者 40 名）、それぞれ貴重な意見を徴した。

議会に関するアンケートの「議員報酬について」の問いの結果は表 7 のとおりで、「現状で良い」96 件 37.2%がトップで、次いで「少ない」が 71 件 27.5%となった。議会に関するアンケート及び議会懇談会で徴した意見要旨は資料編のとおり。

表 7 議会に関するアンケート集計			
質問項目	回答数	計	構成率
【4】現在の議員報酬についてどう思いますか？			
現状で良い	96	258	37.2%
多い	52		20.2%
少ない	71		27.5%
分からない	39		15.1%
【5】上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックをつけてください。（複数回答可）			
人口が減少している	77	545	14.1%
議員の資質に疑問を感じる	76		13.9%
なり手不足に対応	67		12.3%
議員の活動が分からない	76		13.9%

他業種との比較から	43	7.9%
専業でできる報酬が必要	63	11.6%
財政面を考えて	66	12.1%
活動量に見合っていない	47	8.6%
その他	30	5.5%

(3) 議員報酬についてのまとめ

特別委員会は8回開催するほか、議員間討議を深めるため常任委員会等の開催時に意見を交わしてきた。また、今特別委員会では、調査検討の参考にするよう住民の意見を徴してきた。

それらを踏まえた上での議員報酬に関する委員の見解の方向性として、全国町村議会議長会が推奨する「議会・議員活動内容を踏まえた原価方式による議員報酬を水準とする」は約8割、「現状維持等」は約2割となった。

議員報酬を見直しする意見として、全国や全道の状況に呼応、物価や賃金が上昇している情勢を反映、将来の議員候補に応えるなどがある。

現状維持等とする意見として、社会情勢を踏まえ慎重に判断、住民意見や町財政を踏まえるなどがある。

議員報酬については、全国町村議会議長会及び北海道町村議会議長会において、「議員報酬の適正化に関する決議」が採択されており、「議会・議員活動内容を踏まえた原価方式による議員報酬を水準とする」ことが多勢となった。その算定内容は以下に示すとおりである。

特別職及び議員の報酬額の決定については、町長が特別職報酬等審議会に諮問し、議論のうえ答申を得て方向性が示されていることから、特別職報酬等審議会では、客観的な判断を行っていただきつつ、今回の調査した特別委員会の報告書を参考にしていきたい。

- ① 全国町村議会議長会が推奨する「活動内容を踏まえた原価方式」による報酬試算
- ア 議会・議員活動については、令和４年、５年の２カ年の平均値（表８）により試算し、年間活動日数は９２日と算定した。

表８ 議会活動時間数・換算日数（議会要覧より抽出）								
区 分		活動 時間	令和５年		令和４年		平均 回数	平均 時間
			回数	時間	回数	時間		
A	本会議	8	11	88	11	88	11	88
	臨時会	4	7	28	6	24	7	26
	総務産建常任委員会	8	10	80	15	120	12	96
	厚生文教常任委員会	8	9	72	14	112		
	議会広報特別委員会	8	18	144	16	128	17	136
	予算特別委員会	8	4	32	4	32	4	32
	決算特別委員会	8	3	24	3	24	3	24
	議会運営委員会	4	17	68	20	80	19	74
	合計			536		608	73	476
	８で除した換算日数			67		76		60
B	全員協議会	8	17	136	21	168	19	152
	合計			144		144	19	152
	８で除した換算日数			18		18		19
C	町内行政調査	8	1	8	1	8	1	8
	先進市町村行政調査	8	6	48	8	64	7	56
	常任委員会視察調査	8	1	8	0	0	1	4
	議長会研修会	8	4	32	2	16	3	24
	議会懇談会	4	2	8	1	4	2	6
	他市町村行政視察対応	4	0	0	0	0	0	0
	合計			104		92	14	98
	８で除した換算日数			13		12		13
総合計（時間）				784		844		726
総合計（換算日数）				98		106		92

- イ 首長の職務遂行日数は、全国町村議会議長会のモデル値３０５日とした。
 首長の職務遂行の実態を踏まえ法定休日の半分程度を公務につくものと推定しモデル値を算出

$$365 \text{ 日} - (\text{土曜日} \cdot \text{日曜日} : 104 \text{ 日} + \text{国民の祝日} : 16 \text{ 日}) \times 1/2 = 305 \text{ 日}$$

ウ 議員報酬の算定式

$$\frac{\text{議会・議員活動日数 } 92 \text{ 日}}{\text{町長職務遂行日数 } 305 \text{ 日}} \times \text{町長給料 } 750,000 \text{ 円}$$

$$= 226,229 \text{ 円} \div 226,000 \text{ 円}$$

※現在の報酬 179,000 円より、47,000 円の増

※議会活動日数／町長職務日数＝30.1%

② 議員報酬（月額）の算定

議長・副議長・委員長の報酬については、先に示した実態調査の全道平均比較より、議長 1.5 倍、副議長 1.2 倍、委員長 1.1 倍を乗じて得た額をそれぞれの報酬（月額）とした。

議員報酬（月額）の算定				
(単位：円)				
区分	現在の報酬額 A	比率	報酬月額算定額 B	比較(B-A)
議長	275,000	1.5 倍	339,000	64,000
副議長	209,000	1.2 倍	271,000	62,000
委員長	191,000	1.1 倍	248,000	59,000
議員	179,000	1.0 倍	226,000	47,000

別表 1

議員定数・議員報酬調査特別委員会開催の経過一覧

回	会 議 開 催 日	審 査 事 項																								
1	令和6年6月17日	○正副委員長の選任 (1)議員定数・議員報酬について (2)今後の調査スケジュールについて																								
2	令和6年7月24日	(1)調査の進め方及びスケジュールについて (2)調査に関わる資料等について																								
3	令和6年9月17日	(1)住民の意見聴取（アンケート等）について (2)議員の意見聴取について ○委員会等で討議されてきた議員の見解 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>議員定数</th><th>議員報酬</th></tr> <tr> <td>増</td><td>7%</td><td>57%</td></tr> <tr> <td>維持</td><td>36%</td><td>21.5%</td></tr> <tr> <td>減</td><td>57%</td><td>0</td></tr> <tr> <td>他</td><td>0</td><td>21.5%</td></tr> </table> ○委員会等で討議されてきた主な意見 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>議員定数</th><th>議員報酬</th></tr> <tr> <td>増 維持</td><td> ・現在の人口からは適当 ・議会の議論や運営にはある程度の人数は必要 ・誰もが立候補を考えられる状況として ・多様な人材、多様な意見が反映される環境として ・極端な人口減少とは言えない ・住民の生活や意見をカバーするための一定の定数が必要 ・これまでは選挙（定数以上の立候補者）になっている ・町政を多くの目で監視する必要 </td><td> ・近年、賃金が上昇している状況 ・現行の金額をもって立候補している ・特に不満無し ・成り手不足にならないような金額を ・議員活動を充実させるため ・若者が生活を踏まえながら立候補できる環境として ・議員活動で生活できる環境として ・他町村議会や市議会議員との比較から ・定数に合わせて検討 </td></tr> <tr> <td>減</td><td> ・人口が減少している ・住民の声から減少が聞かれる ・議員活動を活性化していくため ・町の人口に合わせた定数（1000人目安） </td><td> ・住民の生活状況、町財政を考慮 ・住民の想いに応える </td></tr> </table>	区分	議員定数	議員報酬	増	7%	57%	維持	36%	21.5%	減	57%	0	他	0	21.5%	区分	議員定数	議員報酬	増 維持	・現在の人口からは適当 ・議会の議論や運営にはある程度の人数は必要 ・誰もが立候補を考えられる状況として ・多様な人材、多様な意見が反映される環境として ・極端な人口減少とは言えない ・住民の生活や意見をカバーするための一定の定数が必要 ・これまでは選挙（定数以上の立候補者）になっている ・町政を多くの目で監視する必要	・近年、賃金が上昇している状況 ・現行の金額をもって立候補している ・特に不満無し ・成り手不足にならないような金額を ・議員活動を充実させるため ・若者が生活を踏まえながら立候補できる環境として ・議員活動で生活できる環境として ・他町村議会や市議会議員との比較から ・定数に合わせて検討	減	・人口が減少している ・住民の声から減少が聞かれる ・議員活動を活性化していくため ・町の人口に合わせた定数（1000人目安）	・住民の生活状況、町財政を考慮 ・住民の想いに応える
区分	議員定数	議員報酬																								
増	7%	57%																								
維持	36%	21.5%																								
減	57%	0																								
他	0	21.5%																								
区分	議員定数	議員報酬																								
増 維持	・現在の人口からは適当 ・議会の議論や運営にはある程度の人数は必要 ・誰もが立候補を考えられる状況として ・多様な人材、多様な意見が反映される環境として ・極端な人口減少とは言えない ・住民の生活や意見をカバーするための一定の定数が必要 ・これまでは選挙（定数以上の立候補者）になっている ・町政を多くの目で監視する必要	・近年、賃金が上昇している状況 ・現行の金額をもって立候補している ・特に不満無し ・成り手不足にならないような金額を ・議員活動を充実させるため ・若者が生活を踏まえながら立候補できる環境として ・議員活動で生活できる環境として ・他町村議会や市議会議員との比較から ・定数に合わせて検討																								
減	・人口が減少している ・住民の声から減少が聞かれる ・議員活動を活性化していくため ・町の人口に合わせた定数（1000人目安）	・住民の生活状況、町財政を考慮 ・住民の想いに応える																								

		<table><tr><td>他</td><td> ・定数、報酬のことを理解してもらうためにも議会のことをもっと知ってもらうこと必要 ・議会活動を高めるための調査費等の予算確保 ・議員報酬は審議会に委ねられている仕組みがありそれに応じる ・議員活動の環境改善 </td></tr></table>	他	・定数、報酬のことを理解してもらうためにも議会のことをもっと知ってもらうこと必要 ・議会活動を高めるための調査費等の予算確保 ・議員報酬は審議会に委ねられている仕組みがありそれに応じる ・議員活動の環境改善												
他	・定数、報酬のことを理解してもらうためにも議会のことをもっと知ってもらうこと必要 ・議会活動を高めるための調査費等の予算確保 ・議員報酬は審議会に委ねられている仕組みがありそれに応じる ・議員活動の環境改善															
		(3) 今後の調査について														
4	令和6年10月11日	(1) 住民の意見聴取（アンケート等）について (2) 議員定数、報酬に関する資料について ○全国、全道の町村議会等との定数・報酬の状況比較 ○全国町村議会議長会「議員報酬シミュレーションシステム」による試算 (3) 今後の調査について														
5	令和6年11月22日	(1) 住民の意見聴取（アンケート等）について ○アンケート結果（回答260件）、議会懇談会（3会場40名）の意見等について分析 (2) 議員定数、報酬に関する資料について ○この間の調査等を踏まえた議員の見解 <table><tr><td>区分</td><td>議員定数</td></tr><tr><td>増</td><td>0</td></tr><tr><td>維持</td><td>23%</td></tr><tr><td>減</td><td>77%</td></tr></table> ○主な意見 <table><tr><td>区分</td><td>議員定数</td></tr><tr><td>維持</td><td> ・極端な人口減少にはない ・委員会の議論活発化には一定の人数が必要 ・なり手不足下、若者の参加機会に対応する ・一度減らすと戻すことは困難 ・人口の増減は今後も考えられそれに対応 ・議員数の減（議会費減）は町民サービスにつながるのかどうか ・議員になりたいという声に応える環境づくり </td></tr><tr><td>減</td><td> ・町民の感情に応えるため ・減数しても議会運営は可 ・アンケート結果を踏まえる ・議会の活動量の低下が懸念される ・議会に感心を持ってもらう機会 ・減数するデメリットは多い ・人口に応じた議員数 ・段階的に減員 ・減数は議会と議員の活動量を増やすことが必要 ・選挙に感心を持ってもらう </td></tr></table> (3) 今後の調査について	区分	議員定数	増	0	維持	23%	減	77%	区分	議員定数	維持	・極端な人口減少にはない ・委員会の議論活発化には一定の人数が必要 ・なり手不足下、若者の参加機会に対応する ・一度減らすと戻すことは困難 ・人口の増減は今後も考えられそれに対応 ・議員数の減（議会費減）は町民サービスにつながるのかどうか ・議員になりたいという声に応える環境づくり	減	・町民の感情に応えるため ・減数しても議会運営は可 ・アンケート結果を踏まえる ・議会の活動量の低下が懸念される ・議会に感心を持ってもらう機会 ・減数するデメリットは多い ・人口に応じた議員数 ・段階的に減員 ・減数は議会と議員の活動量を増やすことが必要 ・選挙に感心を持ってもらう
区分	議員定数															
増	0															
維持	23%															
減	77%															
区分	議員定数															
維持	・極端な人口減少にはない ・委員会の議論活発化には一定の人数が必要 ・なり手不足下、若者の参加機会に対応する ・一度減らすと戻すことは困難 ・人口の増減は今後も考えられそれに対応 ・議員数の減（議会費減）は町民サービスにつながるのかどうか ・議員になりたいという声に応える環境づくり															
減	・町民の感情に応えるため ・減数しても議会運営は可 ・アンケート結果を踏まえる ・議会の活動量の低下が懸念される ・議会に感心を持ってもらう機会 ・減数するデメリットは多い ・人口に応じた議員数 ・段階的に減員 ・減数は議会と議員の活動量を増やすことが必要 ・選挙に感心を持ってもらう															
6	令和6年12月16日	(1) 住民の意見聴取（アンケート等）について														

		○アンケート結果（回答 260 件）の分析 (2) 議員定数、報酬に関する資料について ○全国町村議会議長会が推奨する「議会活動内容を踏まえた原価方式（議員報酬シミュレーション）」による算定 ○この間の調査等を踏まえた議員の見解 <table><tr><td>区分</td><td>議員報酬</td></tr><tr><td>原価方式</td><td>77%</td></tr><tr><td>維持</td><td>23%</td></tr><tr><td>減</td><td>0</td></tr></table> ○主な意見 <table><tr><td>区分</td><td>議員報酬</td></tr><tr><td>原価方式</td><td> ・更に説明する機会が必要 ・報酬審議会への説明（情報提供）が大切 ・地方の実態に応じた見直し ・物価や賃金の上昇を踏まえる ・増やす時期は要検討 ・何年も見直しされていない実態を考慮 ・町長と比較することの是非 ・将来に向けて増やしていくこと必要 </td></tr><tr><td>維持</td><td> ・社会情勢を見ること大切 ・町民の声や町の財源を踏まえる ・管内で見れば上から 4 番目 </td></tr></table>	区分	議員報酬	原価方式	77%	維持	23%	減	0	区分	議員報酬	原価方式	・更に説明する機会が必要 ・報酬審議会への説明（情報提供）が大切 ・地方の実態に応じた見直し ・物価や賃金の上昇を踏まえる ・増やす時期は要検討 ・何年も見直しされていない実態を考慮 ・町長と比較することの是非 ・将来に向けて増やしていくこと必要	維持	・社会情勢を見ること大切 ・町民の声や町の財源を踏まえる ・管内で見れば上から 4 番目
区分	議員報酬															
原価方式	77%															
維持	23%															
減	0															
区分	議員報酬															
原価方式	・更に説明する機会が必要 ・報酬審議会への説明（情報提供）が大切 ・地方の実態に応じた見直し ・物価や賃金の上昇を踏まえる ・増やす時期は要検討 ・何年も見直しされていない実態を考慮 ・町長と比較することの是非 ・将来に向けて増やしていくこと必要															
維持	・社会情勢を見ること大切 ・町民の声や町の財源を踏まえる ・管内で見れば上から 4 番目															
7	令和 7 年 1 月 30 日	(1) 議員定数、議員報酬に関する報告書について														
8	令和 7 年 2 月 10 日	(1) 議員定数、議員報酬に関する報告書について														

○その他

	実施時期	内 容
1	令和 6 年 7 月～9 月	議員定数・議員報酬に関する議員間討議として、各委員会開催時の機会を活用して意見交換を実施 ・総務産建常任委員会、厚生文教常任委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会において討議 ・議員定数、議員報酬に対する各々の見解について ・議員定数、議員報酬の増減に対する考え方の討議
2	令和 6 年 10 月 1 日～11 月 15 日	議会に関するアンケート実施 内容「議員定数」「議員報酬」に関する 5 項目 ・回答 260 件、結果は資料編に掲載
3	令和 6 年 11 月 6 日	議会懇談会 テーマ「議員定数と報酬について」 ・3 会場で開催、参加者 40 名、意見要旨は資料に掲載

議員定数・議員報酬調査特別委員会 資料編目次

No.	資料名称
1	北海道町村議会時報（R6.5.1 発行）…第 69 回町村議会実態調査結果概要
2	第 69 回町村議会実態調査結果概要（令和 5 年 7 月 1 日現在） ・人口、面積、議員定数、議員定数一人当り人口
3	第 69 回町村議会実態調査（令和 5 年 7 月 1 日現在）より比較資料 ・議員定数、議員報酬に関する全道一覧
4	第 69 回町村議会実態調査（令和 5 年 7 月 1 日現在）より比較資料 ・議員定数、議員報酬に関する上川管内一覧
5	第 69 回町村議会実態調査（令和 5 年 7 月 1 日現在）より比較資料 ・議員定数、議員報酬に関する振興局別平均
6	第 69 回町村議会実態調査（令和 5 年 7 月 1 日現在）より比較資料 ・議員定数に関する全国等の状況 ・議員定数に関する類似町村抽出
7	第 69 回町村議会実態調査（令和 5 年 7 月 1 日現在）より比較資料 ・議員報酬に関する全国等との比較 ・議員報酬に関する類似町村抽出
8	議会に関するアンケート結果（期間 10/1～11/15 回答数 260）
9	議会懇談会（11/6 開催）の参加者意見要旨
10	北海道町村議会議長会 第 75 回定期総会「議員報酬の適正化に関する特別決議」（R6.6.11） 全国町村議会議長会都道府県会長会 「議会・議員活動の豊富化、議員報酬の適正化に関する決議」（R6.7.10）
11	議員報酬（月額及び年額）の積算資料
12	議員報酬の議員区分毎比較
13	議会議員及び長の選挙の経過（町統計データより）

[その他 冊子類]

- ・議員研修誌「地方議会人」2024/12 号他
- ・議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続（令和 4 年 2 月全国町村議会議長会発行）
- ・町村議会議員のなり手不足に潜む 3 つの危機（令和 6 年 3 月全国町村議会議長会発行）

[その他 報告等]

- ・「議員定数・議員報酬調査特別委員会調査報告書（令和 4 年 6 月 16 日）」
- ・「議会活性化に関する調査・検討について（平成 30 年 12 月 6 日答申書）」
- ・「議会だより特集（平成 26 年 7 月 25 日号～平成 27 年 4 月 25 日号）」

議員報酬平均は増額

第69回町村議会実態調査結果

全国町村議会議長会では、毎年調査を行っている町村議会実態調査の結果（令和5年7月1日現在）を公表した。この調査は全国町村議会議長会が昭和30年から、議会の組織・運営等の実態を把握し、基礎資料を得るために行っているものであり、今回で69回目となる。主な内容は以下のとおりとなっている。

なお、令和6年4月10日付文書により、北海道分の調査集計表及び全国町村議会議長会の調査結果（概要版）を各町村議会事務局へ送付している。

現議員数・議員定数

・現議員数
全国 10607人

①男性議員
9195人

②女性議員
1412人
(13・3%)

北海道 1515人

①男性議員
1319人

②女性議員
196人
(87・1%)

・議員定数（平均）
全国 11・7人

北海道 10・7人

職業別議員数（上位3区分）

全国
農業 2655人
(24・9%)

議員専業 2580人
(24・3%)

その他 1396人
(13・2%)

北海道

議員専業 379人
(25・0%)

農業 322人
(21・3%)

その他 167人
(11・0%)

年齢（上位3区分）

全国

60歳以上70歳未満
3841人

70歳以上80歳未満
3745人
(36・4%)

50歳以上60歳未満
1511人
(35・3%)

平均年齢 64・4歳
(14・2%)

最年少 25歳

最年長 93歳

北海道
60歳以上70歳未満
552人

70歳以上80歳未満
508人
(33・5%)

50歳以上60歳未満
219人

平均年齢 64・3歳
(14・5%) など

最年少 26歳

最年長 91歳

議員報酬

全国（平均額）
218218円

（議員報酬の町村長給料に
対する割合29・6%）
参考 町村長の平均給料
額

北海道（平均額）
736464円

184798円

（議員報酬の町村長給料に
対する割合25・0%）
参考 町村長の平均給料
額

739722円

政務活動費（単位・団体）

全国 交付200

①1人あたりの交付額
(21・6%)
(月額換算)

平均9608円

②交付方法
前払い 154

後払い 40

会派に前払い、会派
から議員に後払い6

北海道 交付18団体
(12・5%)

①1人あたりの交付額
(月額換算)

平均11981円

②交付方法
前払い 12

後払い 6

その他

・議会のデジタル技術の活
用（複数回答・単位・団体）
タブレット端末の導入
全国 340

北海道 33

グループウェア、ビジ
ネスチャットの導入
全国 189

北海道 18

音声認識システムの導
入
全国 183

北海道 35

議員報酬等の概要

第69回町村議会実態調査結果の概要(5.7.1現在)より

都道府県	町村数	平均議員報酬等(円)								町村長給料に対する比率					
		順位	議長	順位	副議長	順位	議員	順位	町村長	順位	議長(%)	順位	副議長(%)	順位	議員(%)
北海道	144	41	272,217	43	218,168	44	184,798	25	739,722	45	36.8	43	29.5	47	25.0
青森県	30	43	271,423	37	230,873	26	220,096	30	722,700	39	37.6	34	31.9	27	30.5
岩手県	19	36	279,631	38	227,052	36	209,163	43	687,263	26	40.7	26	33.0	28	30.4
宮城県	21	14	321,000	13	266,571	12	252,523	2	825,023	37	38.9	32	32.3	26	30.6
秋田県	12	45	264,666	30	235,083	23	224,500	35	706,333	41	37.5	24	33.3	16	31.8
山形県	22	15	320,318	14	262,181	14	244,136	6	806,909	29	39.7	31	32.5	31	30.3
福島県	46	27	297,355	26	239,380	27	218,995	20	756,391	32	39.3	35	31.6	33	29.0
茨城県	12	5	350,416	3	313,166	2	296,916	12	770,916	4	45.5	3	40.6	2	38.5
栃木県	11	6	349,545	8	281,363	11	252,545	15	764,090	2	45.7	7	36.8	10	33.1
群馬県	23	26	299,521	29	235,086	33	213,913	44	682,695	7	43.9	16	34.4	19	31.3
埼玉県	23	28	296,260	28	237,565	30	217,086	34	706,434	17	41.9	22	33.6	23	30.7
千葉県	17	33	287,588	27	237,882	28	217,294	11	774,705	42	37.1	38	30.7	37	28.0
東京都	13	38	277,307	39	225,692	37	207,461	41	691,692	28	40.1	28	32.6	32	30.0
神奈川県	14	1	395,142	2	318,214	3	292,571	18	761,642	1	51.9	1	41.8	3	38.4
山梨県	14	47	217,428	47	177,714	47	159,000	47	611,857	47	35.5	45	29.0	45	26.0
新潟県	10	39	276,700	44	213,800	43	193,800	38	705,600	34	39.2	40	30.3	39	27.5
富山県	5	9	337,200	5	292,000	6	272,400	7	805,400	18	41.9	8	36.3	7	33.8
石川県	8	7	345,750	4	297,250	4	280,250	8	802,250	11	43.1	6	37.1	6	34.9
福井県	8	18	313,125	17	254,250	16	241,500	1	846,250	43	37.0	41	30.0	34	28.5
長野県	58	44	268,950	46	197,589	46	176,286	42	690,677	36	38.9	47	28.6	46	25.5
岐阜県	21	31	288,147	24	239,957	25	223,647	37	705,800	25	40.8	19	34.0	17	31.7
静岡県	12	30	289,250	36	231,750	35	211,750	40	696,416	21	41.5	25	33.3	29	30.4
愛知県	16	3	365,187	7	285,500	7	260,250	5	809,250	5	45.1	11	35.3	13	32.2
三重県	15	25	300,066	31	234,266	29	217,200	16	762,266	31	39.4	37	30.7	35	28.5
滋賀県	6	29	289,916	40	221,333	41	199,166	35	706,333	24	41.0	36	31.3	36	28.2
京都府	11	12	321,454	19	254,000	22	226,454	27	733,545	8	43.8	15	34.6	22	30.9
兵庫県	12	2	365,833	9	277,166	10	252,833	3	814,916	6	44.9	18	34.0	20	31.0
大阪府	10	4	354,900	1	318,800	1	300,900	10	776,200	3	45.7	2	41.1	1	38.8
奈良県	27	23	302,518	20	253,074	17	234,555	29	724,111	19	41.8	14	34.9	11	32.4
和歌山県	21	34	284,523	33	232,428	34	213,904	46	662,071	14	43.0	12	35.1	12	32.3
鳥取県	15	13	321,400	25	239,866	24	224,466	4	813,600	30	39.5	44	29.5	38	27.6
島根県	11	35	280,436	32	232,763	42	194,654	31	714,000	33	39.3	30	32.6	40	27.3
岡山県	12	24	301,166	22	248,583	21	227,833	33	709,416	15	42.5	13	35.0	14	32.1
広島県	9	16	316,000	15	260,000	15	244,111	14	767,444	22	41.2	21	33.9	15	31.8
山口県	6	42	272,000	42	220,000	39	200,166	26	736,333	44	36.9	42	29.9	41	27.2
徳島県	16	32	287,856	23	243,118	40	199,593	21	753,500	38	38.2	33	32.3	43	26.5
香川県	9	8	338,222	6	291,666	5	274,333	9	776,333	9	43.6	4	37.6	5	35.3
愛媛県	9	40	274,766	41	221,044	38	201,200	19	761,222	46	36.1	46	29.0	44	26.4
高知県	23	46	255,347	45	206,782	45	183,913	45	680,195	40	37.5	39	30.4	42	27.0
福岡県	31	11	325,377	10	276,487	9	257,600	13	768,870	16	42.3	9	36.0	8	33.5
佐賀県	10	10	330,880	11	271,140	13	252,430	17	762,110	10	43.4	10	35.6	9	33.1
長崎県	8	19	309,625	16	255,250	18	234,250	24	743,750	20	41.6	17	34.3	18	31.5
熊本県	31	20	308,287	18	254,235	19	231,674	22	748,812	23	41.2	20	34.0	21	30.9
大分県	4	17	314,250	12	270,750	7	260,250	28	730,487	12	43.0	5	37.1	4	35.6
宮崎県	17	22	302,823	34	232,235	31	215,705	39	704,176	13	43.0	27	33.0	24	30.6
鹿児島県	24	21	303,029	21	250,487	20	228,433	23	745,833	27	40.6	23	33.6	25	30.6
沖縄県	30	37	277,918	35	232,010	32	215,410	32	711,376	35	39.1	29	32.6	30	30.3
合計/平均	926		296,006		240,274		218,218		736,464		40.2		32.6		29.6

第69回町村議会実態調査結果より抜粋(第1 人口・議員定数)

区分	町村名	人口(人) 住基台帳	面積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数 一人当り人口
D	当別町	15,333	422.9	15	1,022
A	新篠津村	2,829	78.0	8	354
石狩	町村数	2		2	
	小計	18,162		23	790
	該当平均・構成比	9,081.0		11.5	
B	松前町	6,116	293.1	11	556
A	福島町	3,525	187.2	10	353
A	知内町	3,940	196.8	10	394
A	木古内町	3,667	221.9	10	367
E	七飯町	27,759	216.7	14	1,983
A	鹿部町	3,577	110.6	10	358
C	森町	14,017	368.2	14	1,001
C	八雲町	14,870	956.1	14	1,062
A	長万部町	4,864	310.8	10	486
渡島	町村数	9		9	
	小計	82,335		103	799
	該当平均・構成比	9,148.3		11.4	
B	江差町	6,906	109.5	12	576
A	上ノ国町	4,304	547.6	9	478
A	厚沢部町	3,432	460.4	10	343
A	乙部町	3,272	162.5	9	364
A	奥尻町	2,311	142.9	8	289
A	今金町	4,687	568.1	12	391
B	せたな町	7,051	638.6	12	588
檜山	町村数	7		7	
	小計	31,963		72	444
	該当平均・構成比	4,566.1		10.3	
A	島牧村	1,300	437.2	8	163
A	寿都町	2,687	95.3	9	299
A	黒松内町	2,568	345.6	9	285
A	蘭越町	4,485	449.8	10	449
A	二セコ町	4,946	197.1	10	495
A	真狩村	1,975	114.3	8	247
A	留寿都村	1,845	119.8	9	205
A	喜茂別町	1,914	189.5	9	213
A	京極町	2,795	231.6	10	280
C	倶知安町	14,615	261.2	16	913
B	共和町	5,473	304.9	11	498
C	岩内町	11,192	70.6	15	746
A	泊村	1,476	82.4	8	185
A	神恵内村	770	147.8	8	96
A	積丹町	1,797	238.1	9	200
A	古平町	2,683	188.4	10	268
A	仁木町	3,211	167.9	9	357
D	余市町	17,370	140.6	18	965
A	赤井川村	1,104	280.1	8	138
後志	町村数	19		19	
	小計	84,206		194	434
	該当平均・構成比	4,431.9		10.2	
B	南幌町	7,680	81.4	11	698
A	奈井江町	4,900	88.2	9	544
A	上砂川町	2,526	40.0	8	316
A	由仁町	4,717	133.8	9	524
C	長沼町	10,095	168.3	12	841
C	栗山町	10,983	203.9	11	998

第69回町村議会実態調査結果より抜粋(第1 人口・議員定数)

区分	町村名	人口(人) 住基台帳	面積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数 一人当り人口
A	月形町	2,841	150.4	8	355
A	浦臼町	1,617	101.8	8	202
B	新十津川町	6,315	495.5	11	574
A	妹背牛町	2,646	48.6	10	265
A	秩父別町	2,261	47.2	9	251
A	雨竜町	2,116	191.2	9	235
A	北竜町	1,662	158.7	8	208
A	沼田町	2,854	283.4	10	285
空知	町村数	14		14	
	小計	63,213		133	475
	該当平均・構成比	4,515.2		9.5	
B	鷹栖町	6,603	139.4	12	550
B	東神楽町	9,870	68.5	12	823
B	当麻町	6,138	204.9	10	614
A	比布町	3,505	86.9	9	389
A	愛別町	2,523	250.1	9	280
A	上川町	3,167	1,049.2	11	288
B	東川町	8,603	247.1	12	717
B	美瑛町	9,490	676.8	14	678
C	上富良野町	10,024	237.1	14	716
A	中富良野町	4,613	108.7	10	461
A	南富良野町	2,311	665.5	8	289
A	占冠村	1,398	571.4	8	175
A	和寒町	2,956	224.8	9	328
A	剣淵町	2,849	131.0	10	285
A	下川町	2,976	644.2	8	372
A	美深町	3,845	672.1	11	350
A	音威子府村	654	275.6	6	109
A	中川町	1,300	594.8	8	163
A	幌加内町	1,291	767.0	9	143
上川	町村数	19		19	
	小計	84,116		190	443
	該当平均・構成比	4,427.2		10.0	
A	増毛町	3,765	369.7	10	377
A	小平町	2,807	627.2	8	351
A	苫前町	2,778	454.5	8	347
B	羽幌町	6,223	472.5	11	566
A	初山別村	1,068	280.0	8	134
A	遠別町	2,366	590.8	8	296
A	天塩町	2,772	353.3	9	308
留萌	町村数	7		7	
	小計	21,779		62	351
	該当平均・構成比	3,111.3		8.9	
A	猿払村	2,699	590.0	8	337
A	浜頓別町	3,332	401.6	10	333
A	中頓別町	1,549	398.5	8	194
B	枝幸町	7,378	1,115.9	12	615
A	豊富町	3,625	520.6	10	363
A	礼文町	2,301	81.3	9	256
A	利尻町	1,886	76.5	8	236
A	利尻富士町	2,235	105.6	9	248
A	幌延町	2,140	574.1	8	268
宗谷	町村数	9		9	
	小計	27,145		82	331
	該当平均・構成比	3,016.1		9.1	

第69回町村議会実態調査結果より抜粋(第1 人口・議員定数)

区分	町村名	人口(人) 住基台帳	面積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数 一人当り人口
D	美幌町	17,921	438.4	14	1,280
A	津別町	4,140	716.8	10	414
C	斜里町	10,768	737.1	13	828
A	清里町	3,765	4,027.6	9	418
A	小清水町	4,465	287.0	10	447
A	訓子府町	4,553	190.9	10	455
A	置戸町	2,644	527.3	8	331
A	佐呂間町	4,741	404.9	10	474
D	遠軽町	18,253	1,332.4	16	1,141
B	湧別町	8,055	505.7	11	732
A	滝上町	2,315	766.8	9	257
A	興部町	3,583	362.5	9	398
A	西興部村	1,005	308.1	7	144
A	雄武町	4,169	636.9	10	417
B	大空町	6,689	343.6	12	557
オホ ツ ク I	町村数	15		15	
	小計	97,066		158	614
	該当平均・構成比	6,471.1		10.5	
A	豊浦町	3,591	233.5	8	449
A	壮瞥町	2,392	205.0	9	266
D	白老町	15,546	425.7	14	1,110
A	厚真町	4,334	404.6	11	394
B	洞爺湖町	8,122	180.5	12	677
B	安平町	7,345	237.1	12	612
B	むかわ町	7,466	712.9	13	574
胆 振	町村数	7		7	
	小計	48,796		79	618
	該当平均・構成比	6,970.9		11.3	
C	日高町	11,190	992.1	14	799
A	平取町	4,618	743.1	10	462
B	新冠町	5,172	585.9	11	470
C	浦河町	11,531	694.2	14	824
A	様似町	3,938	364.3	10	394
A	えりも町	4,238	284.0	11	385
E	新ひだか町	20,789	1,147.6	16	1,299
日 高	町村数	7		7	
	小計	61,476		86	715
	該当平均・構成比	8,782.3		12.3	
E	音更町	43,071	466.0	20	2,154
B	士幌町	5,879	259.1	12	490
A	上士幌町	4,819	696.0	11	438
B	鹿追町	5,082	404.7	11	462
B	新得町	5,456	1,063.8	12	455
B	清水町	8,984	402.3	13	691
D	芽室町	17,967	513.8	16	1,123
A	中札内村	3,877	292.7	8	485
A	更別村	3,133	176.9	8	392
B	大樹町	5,404	815.7	12	450
B	広尾町	6,093	596.2	13	469
E	幕別町	25,727	477.6	19	1,354
B	池田町	6,081	371.8	12	507
A	豊頃町	2,990	536.7	9	332
B	本別町	6,250	391.9	12	521
B	足寄町	6,250	1,408.0	13	481
A	陸別町	2,182	608.9	8	273

第69回町村議会実態調査結果より抜粋(第1 人口・議員定数)

区分	町村名	人口(人) 住基台帳	面積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数 一人当り人口
A	浦幌町	4,262	729.9	11	387
十勝	町村数	18		18	
	小計	163,507		220	743
	該当平均・構成比	9,083.7		12.2	
D	釧路町	18,704	254.1	16	1,169
B	厚岸町	8,441	739.1	13	649
B	浜中町	5,363	423.4	10	536
B	標茶町	7,072	1,099.4	12	589
B	弟子屈町	6,659	774.3	11	605
A	鶴居村	2,477	571.8	9	275
B	白糠町	7,213	773.7	12	601
釧路	町村数	7		7	
	小計	55,929		83	674
	該当平均・構成比	7,989.9		11.9	
C	別海町	14,265	1,319.6	16	892
E	中標津町	22,572	684.9	18	1,254
A	標津町	4,883	624.7	10	488
A	羅臼町	4,403	397.9	10	440
根室	町村数	4		4	
	小計	46,123		54	854
	該当平均・構成比	11,530.8		13.5	
合計	町村数	144		144	
	小計	885,816		1,539	576
	該当平均・構成比	6,151.5		10.7	

全道町村議会の議員定数・報酬等の現状（報酬の高い順）

出典：第69回町村議会実態調査（令和5年7月1日現在）

No.	人口 区分	管内	町村名	面 積 (km)	人口(人) 住基台帳	順位	議員定数 (人)	順位	議員一人 当り人口 (人)	順位	議長		副議長		議員		常任委員長		議運委員長		町村長	
											報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	給料月額	順位
1	E	十勝	音更町	466.0	43,071	1	20	1	2,154	1	397,000	1	321,000	1	281,000	1	290,000	1	290,000	1	859,000	6
2	E	渡島	七飯町	216.7	27,759	2	14	13	1,983	2	380,000	2	310,000	2	280,000	2	290,000	1	290,000	1	736,000	68
3	C	渡島	八雲町	956.1	14,870	13	14	13	1,062	11	340,000	3	275,000	3	243,000	3	255,000	3	255,000	3	900,000	1
4	D	石狩	当別町	422.9	15,333	12	15	11	1,022	12	310,000	13	260,000	5	240,000	4	248,000	5	248,000	5	850,000	8
5	E	日高	新ひだか町	1,147.6	20,789	5	16	5	1,299	4	340,000	3	270,000	4	240,000	4	250,000	4	250,000	4	841,000	14
6	D	オホーツク	美幌町	438.4	17,921	9	14	13	1,280	5	320,000	6	260,000	5	237,000	6	247,000	6	247,000	6	880,000	3
7	C	根室	別海町	1,319.6	14,265	15	16	5	892	17	306,000	18	246,000	15	222,000	7	234,000	7	234,000	7	847,000	10
8	B	空知	新十津川町	495.5	6,315	42	11	46	574	41	305,000	21	247,000	13	215,000	8	228,000	12	228,000	12	784,000	34
9	E	十勝	幕別町	477.6	25,727	3	19	2	1,354	3	323,000	5	258,000	7	212,000	9	231,000	9	231,000	9	830,000	17
10	A	十勝	浦幌町	729.9	4,262	73	11	46	387	83	318,000	7	254,000	10	212,000	9	233,000	8	233,000	8	700,000	99
11	B	渡島	松前町	293.1	6,116	47	11	46	556	44	300,000	23	240,000	23	210,000	11	220,000	18	190,000	89	744,000	59
12	A	オホーツク	置戸町	527.3	2,644	111	8	115	331	102	315,000	9	247,000	13	210,000	11	227,000	13	227,000	13	730,000	70
13	D	胆振	白老町	425.7	15,546	11	14	13	1,110	10	308,000	15	246,000	15	207,000	13	218,000	22	218,000	21	820,000	21
14	B	宗谷	枝幸町	1,115.9	7,378	33	12	28	615	32	285,000	44	225,000	51	205,000	14	215,000	27	215,000	26	741,000	61
15	B	日高	新冠町	585.9	5,172	55	11	46	470	60	280,000	52	230,000	41	205,000	14	210,000	34	210,000	33	720,000	82
16	B	十勝	鹿追町	404.7	5,082	56	11	46	462	62	316,000	8	249,000	11	205,000	14	225,000	14	225,000	14	750,000	46
17	B	釧路	浜中町	423.4	5,363	54	10	62	536	47	313,600	10	254,600	9	204,600	17	228,600	11	228,600	11	791,000	31
18	B	釧路	白糠町	773.7	7,213	35	12	28	601	36	313,600	10	255,600	8	204,600	17	230,600	10	230,600	10	783,000	35
19	D	十勝	芽室町	513.8	17,967	8	16	5	1,123	9	306,000	18	244,000	21	204,000	19	224,000	15	224,000	15	772,000	38
20	D	オホーツク	遠軽町	1,332.4	18,253	7	16	5	1,141	8	295,000	33	235,000	31	201,000	20	212,000	31	212,000	30	810,000	26
21	D	後志	余市町	140.6	17,370	10	18	3	965	15	290,000	40	235,000	31	200,000	21	217,000	25	217,000	24	795,000	30
22	B	上川	美瑛町	676.8	9,490	25	14	13	678	29	300,000	23	240,000	23	200,000	21	210,000	34	210,000	33	810,000	26
23	A	上川	南富良野町	665.5	2,311	119	8	115	289	108	270,000	71	230,000	41	200,000	21	216,000	26	216,000	25	710,000	90
24	B	留萌	羽幌町	472.5	6,223	45	11	46	566	42	275,000	67	225,000	51	200,000	21	210,000	34	210,000	33	860,000	5
25	A	胆振	厚真町	404.6	4,334	71	11	46	394	77	300,000	23	240,000	23	200,000	21	220,000	18	220,000	18	770,000	39
26	B	胆振	安平町	237.1	7,345	34	12	28	612	34	280,000	52	230,000	41	200,000	21	210,000	34	210,000	33	743,000	60
27	A	日高	様似町	364.3	3,938	78	10	62	394	79	280,000	52	220,000	63	200,000	21	210,000	34	210,000	33	710,000	90
28	E	根室	中標津町	684.9	22,572	4	18	3	1,254	6	306,000	18	245,000	18	200,000	21	222,500	16	222,500	16	847,000	10
29	C	空知	栗山町	203.9	10,983	20	11	46	998	14	300,000	23	239,000	27	196,000	29	212,000	31	212,000	30	883,000	2
30	D	釧路	釧路町	254.1	18,704	6	16	5	1,169	7	311,000	12	249,000	11	196,000	29	222,000	17	222,000	17	817,000	23
31	C	渡島	森町	368.2	14,017	16	14	13	1,001	13	295,000	33	225,000	51	195,000	31	205,000	48	205,000	47	812,000	25
32	B	空知	南幌町	81.4	7,680	31	11	46	698	27	295,000	33	236,000	30	195,000	31	214,000	28	214,000	27	754,000	45
33	B	十勝	士幌町	259.1	5,879	50	12	28	490	53	310,000	13	245,000	18	195,000	31	218,000	22	218,000	21	750,000	46
34	C	空知	長沼町	168.3	10,095	22	12	28	841	18	298,000	29	237,000	29	193,000	34	209,000	44	209,000	43	834,000	15
35	B	釧路	厚岸町	739.1	8,441	28	13	22	649	31	307,000	16	245,000	18	193,000	34	219,000	20	219,000	19	817,000	23
36	A	釧路	鶴居村	571.8	2,477	115	9	90	275	116	307,000	16	246,000	15	193,000	34	219,000	20	219,000	19	782,000	36
37	A	日高	平取町	743.1	4,618	65	10	62	462	63	255,000	97	215,000	78	192,000	37	200,000	68	200,000	67	710,000	90
38	A	十勝	上士幌町	696.0	4,819	61	11	46	438	72	304,000	22	244,000	21	192,000	37	218,000	22	218,000	21	740,000	62
39	A	石狩	新篠津村	78.0	2,829	102	8	115	354	93	260,000	84	225,000	51	190,000	39	202,000	59	202,000	58	685,000	122
40	A	留萌	小平町	627.2	2,807	103	8	115	351	95	260,000	84	220,000	63	190,000	39	200,000	68	200,000	67	714,000	87
41	A	留萌	苫前町	454.5	2,778	105	8	115	347	97	260,000	84	220,000	63	190,000	39	200,000	68	200,000	67	714,000	87
42	A	留萌	遠別町	590.8	2,366	117	8	115	296	107	260,000	84	220,000	63	190,000	39	205,000	48	205,000	47	700,000	99
43	A	留萌	天塩町	353.3	2,772	106	9	90	308	105	260,000	84	220,000	63	190,000	39	200,000	68	200,000	67	700,000	99
44	A	宗谷	幌延町	574.1	2,140	125	8	115	268	119	250,000	104	210,000	85	190,000	39	200,000	68	200,000	67	710,000	90
45	C	オホーツク	斜里町	737.1	10,768	21	13	22	828	19	291,000	39	234,000	35	190,000	39	213,000	30	213,000	29	770,000	39
46	A	オホーツク	清里町	4,027.6	3,765	81	9	90	418	73	280,000	52	230,000	41	190,000	39	210,000	34	210,000	33	730,000	70
47	A	オホーツク	小清水町	287.0	4,465	69	10	62	447	70	280,000	52	230,000	41	190,000	39	210,000	34	210,000	33	730,000	70

No.	人口区分	管内	町村名	面積 (km)	人口(人) 住基台帳	順位	議員定数 (人)	順位	議員一人 当り人口 (人)	順位	議長		副議長		議員		常任委員長		議運委員長		町村長	
											報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	給料月額	順位
72	A	十勝	豊頃町	536.7	2,990	96	9	90	332	101	281,000	51	225,000	51	185,000	61	202,000	59	202,000	58	720,000	82
73	B	十勝	本別町	391.9	6,250	43	12	28	521	49	292,000	37	230,000	41	185,000	61	204,000	54	204,000	53	747,000	55
74	A	空知	浦臼町	101.8	1,617	133	8	115	202	132	278,000	62	220,000	63	184,000	74	202,000	59	202,000	58	859,000	6
75	B	釧路	弟子屈町	774.3	6,659	40	11	46	605	35	292,000	37	234,000	35	184,000	74	209,000	44	209,000	43	832,000	16
76	A	空知	奈井江町	88.2	4,900	58	9	90	544	46	276,000	66	219,000	71	183,000	76	200,000	68	200,000	67	849,000	9
77	A	オホーツク	津別町	716.8	4,140	76	10	62	414	75	278,000	62	222,000	58	183,000	76	199,000	74	199,000	73	710,000	90
78	B	十勝	清水町	402.3	8,984	26	13	22	691	28	275,000	67	219,000	71	183,000	76	195,000	75	195,000	74	700,000	99
79	A	胆振	豊浦町	233.5	3,591	85	8	115	449	68	277,000	65	216,000	77	182,000	79	194,000	79	194,000	78	650,000	131
80	A	宗谷	豊富町	520.6	3,625	84	10	62	363	89	250,000	104	200,000	105	180,000	80	190,000	90	190,000	89	750,000	46
81	A	オホーツク	雄武町	636.9	4,169	75	10	62	417	74	280,000	52	220,000	63	180,000	80	195,000	75	195,000	74	786,000	33
82	A	日高	えりも町	284.0	4,238	74	11	46	385	84	250,000	104	200,000	105	180,000	80	185,000	100	185,000	100	710,000	90
83	A	上川	上川町	1,049.2	3,167	94	11	46	288	110	249,300	114	208,600	91	179,800	83	190,600	89	190,600	88	745,000	57
84	C	後志	倶知安町	261.2	14,615	14	16	5	913	16	268,000	74	218,000	75	179,000	84	194,000	79	194,000	78	700,000	99
85	C	上川	上富良野町	237.1	10,024	23	14	13	716	26	275,000	67	209,000	87	179,000	84	189,000	93	189,000	93	750,000	46
86	A	宗谷	中頓別町	398.5	1,549	134	8	115	194	134	250,000	104	201,000	103	179,000	84	190,000	90	190,000	89	700,000	99
87	A	オホーツク	滝上町	766.8	2,315	118	9	90	257	122	263,000	80	210,000	85	179,000	84	193,000	85	193,000	84	725,000	79
88	A	胆振	壮瞥町	205.0	2,392	116	9	90	266	120	270,000	71	215,000	78	179,000	84	195,000	75	195,000	74	720,000	82
89	A	空知	妹背牛町	48.6	2,646	110	10	62	265	121	268,000	74	212,000	80	177,000	89	193,000	85	193,000	84	744,300	58
90	A	空知	秩父別町	47.2	2,261	122	9	90	251	124	268,000	74	212,000	80	177,000	89	194,000	79	194,000	78	830,000	17
91	A	空知	北竜町	158.7	1,662	132	8	115	208	130	268,000	74	212,000	80	177,000	89	194,000	79	194,000	78	789,000	32
92	A	空知	沼田町	283.4	2,854	99	10	62	285	111	268,000	74	212,000	80	177,000	89	194,000	79	194,000	78	830,000	17
93	B	上川	東川町	247.1	8,603	27	12	28	717	25	261,000	83	208,000	92	176,000	93	186,000	98	186,000	98	775,000	37
94	A	留萌	増毛町	369.7	3,765	81	10	62	377	85	243,000	123	198,000	116	176,000	93	185,000	100	185,000	100	680,000	125
95	A	渡島	長万部町	310.8	4,864	60	10	62	486	55	250,000	104	205,000	96	175,000	95	185,000	100	185,000	100	810,000	26
96	A	後志	仁木町	167.9	3,211	93	9	90	357	91	258,000	93	206,000	95	175,000	95	188,000	95	188,000	95	700,000	99
97	A	空知	雨竜町	191.2	2,116	126	9	90	235	128	263,000	80	209,000	87	175,000	95	191,000	88	191,000	87	828,000	20
98	A	上川	下川町	644.2	2,976	97	8	115	372	86	260,000	84	208,000	92	175,000	95	186,000	98	186,000	98	730,000	70
99	A	上川	美深町	672.1	3,845	80	11	46	350	96	250,000	104	200,000	105	175,000	95	185,000	100	185,000	100	730,000	70
100	A	オホーツク	西興部村	308.1	1,005	142	7	143	144	139	260,000	84	209,000	87	175,000	95	189,000	93	189,000	93	700,000	99
101	C	日高	浦河町	694.2	11,531	17	14	13	824	20	255,000	97	203,000	101	175,000	95	184,000	106	184,000	106	700,000	99
102	A	十勝	陸別町	608.9	2,182	124	8	115	273	117	286,000	42	217,000	76	175,000	95	192,000	87	192,000	86	680,000	125
103	A	後志	蘭越町	449.8	4,485	68	10	62	449	69	257,000	96	205,000	96	172,000	103	185,000	100	185,000	100	670,000	128
104	A	桧山	上ノ国町	547.6	4,304	72	9	90	478	58	238,000	129	195,000	118	171,000	104	176,000	123	176,000	123	722,000	81
105	A	桧山	厚沢部町	460.4	3,432	90	10	62	343	98	228,000	138	194,000	122	171,000	104	175,000	124	175,000	124	760,000	43
106	A	渡島	知内町	196.8	3,940	77	10	62	394	77	255,000	97	200,000	105	170,000	106	180,000	111	180,000	111	700,000	99
107	A	渡島	木古内町	221.9	3,667	83	10	62	367	87	255,000	97	200,000	105	170,000	106	180,000	111	180,000	111	700,000	99
108	A	桧山	乙部町	162.5	3,272	92	9	90	364	88	232,000	134	193,000	126	170,000	106	174,000	131	174,000	131	750,000	46
109	A	桧山	奥尻町	142.9	2,311	119	8	115	289	108	234,000	133	194,000	122	170,000	106	174,000	131	174,000	131	706,000	98
110	A	桧山	今金町	568.1	4,687	64	12	28	391	81	239,000	127	200,000	105	170,000	106	182,500	109	182,500	109	740,000	62
111	A	後志	寿都町	95.3	2,687	108	9	90	299	106	260,000	84	200,000	105	170,000	106	180,000	111	180,000	111	740,000	62
112	A	後志	二セコ町	197.1	4,946	57	10	62	495	52	258,000	93	205,000	96	170,000	106	184,000	106	184,000	106	670,000	128
113	A	後志	真狩村	114.3	1,975	127	8	115	247	126	250,000	104	200,000	105	170,000	106	180,000	111	180,000	111	620,000	141
114	A	後志	喜茂別町	189.5	1,914	128	9	90	213	129	250,000	104	200,000	105	170,000	106	180,000	111	180,000	111	650,000	131
115	A	後志	泊村	82.4	1,476	135	8	115	185	135	263,000	80	209,000	87	170,000	106	187,000	97	187,000	97	650,000	131
116	A	後志	積丹町	238.1	1,797	131	9	90	200	133	260,000	84	200,000	105	170,000	106	180,000	111	180,000	111	650,000	131
117	B	上川	当麻町	204.9	6,138	46	10	62	614	33	250,000	104	195,000	118	170,000	106	180,000	111	180,000	111	750,000	46
118	A	上川	中富良野町	108.7	4,613	66	10	62	461	64	255,000	97	197,000	117	170,000	106	180,000	111	180,000	111	730,000	70
119	A	上川	和寒町	224.8	2,956	98	9	90	328	103	246,000	116	195,000	118	170,000	106	180,000	111	180,000	111	710,000	90
120	A	留萌	初山別村	280.0	1,068	141	8	115	134	142	235,000	130	200,000	105	170,000	106	185,000	100	185,000	100	714,000	87
121	A	宗谷	利尻町	76.5	1,886	129	8	115	236	127	235,000	130	190,000	130	170,000	106	180,000	111	180,000	111	700,000	99
122	A	十勝	中札内村	292.7	3,877	79	8	115	485	56	267,000	79	211,000	84	169,000	122	188,000	95	188,000	95	696,000	117
123	B	上川	東神楽町	68.5	9,870	24	12	28	823	21	249,000	115	195,000	118	168,000	123	177,000	121	177,000	121	700,000	99
124	A	上川	幌加内町	767.0	1,291	139	9	90	143	140	254,000	102	201,000	103	168,000	123	183,000	108	183,000	108	690,000	119
125	B	桧山	せたな町	638.6	7,051	37	12	28	588	38	235,000	130	190,000	130	165,000	125	175,000	124	175,000	124	750,000	46
126	A	後志	島牧村	437.2	1,300	137	8	115	163	137	245,000	118	194,000	122	165,000	125	174,000	131	174,000	131	650,000	131
127	A	後志	京極町	231.6	2,795	104	10	62	280	115	243,000	123	192,000	128	165,000	125	170,000	136	170,000	136	680,000	125
128	B	上川	鷹栖町	139.4	6,603	41	12	28	550	45	250,000	104	190,000	130	165,000	125	175,000	124	175,000	124	730,000	70
129	A	上川	剣淵町	131.0	2,849	100	10	6														

全道町村議会の議員定数・報酬等の現状（管内報酬の高い順）

出典：第69回町村議会実態調査（令和5年7月1日現在）

No.	人口区分	管内	町村名	面積 (km ²)	人口(人) 住基台帳	順位	議員定数 (人)	順位	議員一人 当り人口 (人)	議長 報酬額	順位	副議長		議員		常任委員長		議運委員長		町村長	
												報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	報酬額	順位	給料月額	順位
1	B	上川	美瑛町	676.8	9,490	3	14	1	678	300,000	1	240,000	1	200,000	1	210,000	2	210,000	2	810,000	1
2	A	上川	南富良野町	665.5	2,311	15	8	15	289	270,000	3	230,000	2	200,000	1	216,000	1	216,000	1	710,000	10
3	A	上川	上川町	1,049.2	3,167	10	11	6	288	249,300	11	208,600	4	179,800	3	190,600	3	190,600	3	745,000	5
4	C	上川	上富良野町	237.1	10,024	1	14	1	716	275,000	2	209,000	3	179,000	4	189,000	4	189,000	4	750,000	3
5	B	上川	東川町	247.1	8,603	4	12	3	717	261,000	4	208,000	5	176,000	5	186,000	5	186,000	5	775,000	2
6	A	上川	下川町	644.2	2,976	11	8	15	372	260,000	5	208,000	5	175,000	6	186,000	5	186,000	5	730,000	6
7	A	上川	美深町	672.1	3,845	8	11	6	350	250,000	8	200,000	8	175,000	6	185,000	7	185,000	7	730,000	6
8	B	上川	当麻町	204.9	6,138	6	10	8	614	250,000	8	195,000	10	170,000	8	180,000	9	180,000	9	750,000	3
9	A	上川	中富良野町	108.7	4,613	7	10	8	461	255,000	6	197,000	9	170,000	8	180,000	9	180,000	9	730,000	6
10	A	上川	和寒町	224.8	2,956	12	9	11	328	246,000	13	195,000	10	170,000	8	180,000	9	180,000	9	710,000	10
11	B	上川	東神楽町	68.5	9,870	2	12	3	823	249,000	12	195,000	10	168,000	11	177,000	12	177,000	12	700,000	12
12	A	上川	幌加内町	767.0	1,291	18	9	11	143	254,000	7	201,000	7	168,000	11	183,000	8	183,000	8	690,000	15
13	B	上川	鷹栖町	139.4	6,603	5	12	3	550	250,000	8	190,000	13	165,000	13	175,000	13	175,000	13	730,000	6
14	A	上川	剣淵町	131.0	2,849	13	10	8	285	245,000	14	190,000	13	165,000	13	175,000	13	175,000	13	700,000	12
15	A	上川	比布町	86.9	3,505	9	9	11	389	245,000	14	184,000	15	163,000	15	173,000	15	173,000	15	700,000	12
16	A	上川	愛別町	250.1	2,523	14	9	11	280	232,000	16	179,000	16	158,000	16	165,000	16	165,000	16	600,000	18
17	A	上川	占冠村	571.4	1,398	16	8	15	175	225,000	17	170,000	17	140,000	17	150,000	17	150,000	17	648,000	16
18	A	上川	中川町	594.8	1,300	17	8	15	163	225,000	17	167,000	18	140,000	17	150,000	17	150,000	17	602,000	17
19	A	上川	音威子府村	275.6	654	19	6	19	109	191,000	19	142,000	19	123,000	19	132,000	19		19	578,000	19
		上川管内町村19		400.8	84,116 (合計)		10.0	(平均)	406.8 (平均)	249,068 (平均)		195,189 (平均)		167,621 (平均)		178,032 (平均)		171,084 (平均)		704,632 (平均)	

全道町村議会の議員定数・報酬等の現状（振興局別平均）

出典：第69回町村議会実態調査（令和5年7月1日現在）

No.	町村数	振興局	人口(人) 住基台帳	面積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数 当り人口 (人)	議長		副議長	議員	常任委員長	議運委員長	町村長
							報酬額	報酬額					
1	2	石狩	9,081.0	250.5	11.5	687.9	285,000	242,500		215,000	225,000	225,000	767,500
2	9	渡島	9,148.3	317.9	11.4	729.0	288,000	229,111		198,667	209,222	205,889	761,222
3	7	日高	8,782.3	687.3	12.3	662.0	273,143	220,714		197,286	204,714	204,714	730,143
4	7	釧路	7,989.9	662.3	11.9	632.0	306,314	246,314		195,029	220,314	220,314	809,286
5	18	十勝	9,083.7	567.3	12.2	637.0	300,278	238,000		193,944	213,111	213,111	740,944
6	7	胆振	6,970.9	342.8	11.3	583.0	286,000	229,143		191,857	207,143	207,143	744,286
7	15	オホーツク	6,471.1	772.4	10.5	553.0	283,200	228,200		191,333	208,000	208,000	753,400
8	4	根室	11,530.8	756.8	13.5	769.0	282,450	226,600		189,250	206,800	206,800	794,450
9	7	留萌	3,111.3	449.7	8.9	340.0	256,143	214,714		186,571	197,857	197,857	726,000
10	14	空知	4,515.2	156.6	9.5	450.0	280,571	223,286		186,214	203,000	203,000	806,021
11	9	宗谷	3,016.1	429.3	9.1	317.0	242,778	198,444		178,222	188,333	188,333	716,667
12	19	後志	4,431.9	213.8	10.2	368.0	258,263	204,632		172,737	184,842	184,842	677,895
13	7	檜山	4,566.1	375.7	10.3	433.0	235,857	195,857		171,714	178,071	178,071	749,714
14	19	上川	4,427.2	400.8	10.0	407.0	249,068	195,189		167,621	178,032	180,589	704,632
	144	全道	6,152	441.3	10.7	508.2	272,217	218,168		184,799	198,642	197,517	739,723

町村議会議員定数の全国等の状況

(単位：人)

	町村数	人口 (平均)	議員定数 (平均)	議員定数 当り人口	備考
上富良野町	1	10,024	14	716	
全国	926	11,240	11.7	963	人口1万人未満が約6割
全道	144	6,151	10.7	576	
全道 区分C	11	12,141	13.9	873	人口1万人以上～1万5千人未満
全道 区分B	33	6,876	11.8	582	人口5千人以上～1万人未満
全道 議員定数14人の自治体	9	14,705	14.0	1,050	
全道 人口1万人以上の自治体	23	17,155	15.2	1,131	
上川管内	19	4,427	10.0	443	

第69回町村議会実態調査 区分C抽出(人口・議員定数)

区分C: 人口1万人以上～1万5千人未満

区分	町村名	人口(人) 住基台帳	面 積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数当 り人口(人)
C	森町	14,017	368.2	14	1,001
C	八雲町	14,870	956.1	14	1,062
C	倶知安町	14,615	261.2	16	913
C	岩内町	11,192	70.6	15	746
C	長沼町	10,095	168.3	12	841
C	栗山町	10,983	203.9	11	998
C	上富良野町	10,024	237.1	14	716
C	斜里町	10,768	737.1	13	828
C	日高町	11,190	992.1	14	799
C	浦河町	11,531	694.2	14	824
C	別海町	14,265	1,319.6	16	892

11町村

計	133,550	6,008	153	
平均	12,141	546	13.9	873

第69回町村議会実態調査 区分B抽出(人口・議員定数)

区B:人口5千人以上～1万人未満

区分	町村名	人口(人) 住基台帳	面 積 (km ²)	議員定数 (人)	議員定数当 り人口(人)
B	松前町	6,116	293.1	11	556
B	江差町	6,906	109.5	12	576
B	せたな町	7,051	638.6	12	588
B	共和町	5,473	304.9	11	498
B	南幌町	7,680	81.4	11	698
B	新十津川町	6,315	495.5	11	574
B	鷹栖町	6,603	139.4	12	550
B	東神楽町	9,870	68.5	12	823
B	当麻町	6,138	204.9	10	614
B	東川町	8,603	247.1	12	717
B	美瑛町	9,490	676.8	14	678
B	羽幌町	6,223	472.5	11	566
B	枝幸町	7,378	1,115.9	12	615
B	湧別町	8,055	505.7	11	732
B	大空町	6,689	343.6	12	557
B	洞爺湖町	8,122	180.5	12	677
B	安平町	7,345	237.1	12	612
B	むかわ町	7,466	712.9	13	574
B	新冠町	5,172	585.9	11	470
B	士幌町	5,879	259.1	12	490
B	鹿追町	5,082	404.7	11	462
B	新得町	5,456	1,063.8	12	455
B	清水町	8,984	402.3	13	691
B	大樹町	5,404	815.7	12	450
B	広尾町	6,093	596.2	13	469
B	池田町	6,081	371.8	12	507
B	本別町	6,250	391.9	12	521
B	足寄町	6,250	1,408.0	13	481
B	厚岸町	8,441	739.1	13	649
B	浜中町	5,363	423.4	10	536
B	標茶町	7,072	1,099.4	12	589
B	弟子屈町	6,659	774.3	11	605
B	白糠町	7,213	773.7	12	601

33町村

計

226,922

16,937

390

平均

6,876

513

11.8

582

町村議会議員報酬の全国等の状況

(単位：円)

区分	金 額	町の全国等との 比較額	備 考
上富良野町議会議員報酬	179,000		93位/144町村
全国平均町村議会議員報酬	218,218	▲ 39,218	
全道平均町村議会議員報酬	184,799	▲ 5,799	
全道平均町村議会議員報酬 (人口区分C 1万人～1万5千人)	226,329	▲ 47,329	
全道平均町村議会議員報酬 (人口区分B 5千人～1万人)	190,188	▲ 11,188	
上川管内平均町村議会議員報酬	167,621	11,379	14位/14振興局

第69回町村議会実態調査 区分C抽出(報酬)

区分C: 人口1万人以上～1万5千人未満

区分	町村名	議長	副議長	議員	常任委員長	議運委員長	町村長
		報酬額	報酬額	報酬額	報酬額	報酬額	給料月額
C	森町	295,000	225,000	195,000	205,000	205,000	812,000
C	八雲町	340,000	275,000	243,000	255,000	255,000	900,000
C	俱知安町	268,000	218,000	179,000	194,000	194,000	700,000
C	岩内町	282,000	226,000	185,000	202,000	202,000	685,000
C	長沼町	298,000	237,000	193,000	209,000	209,000	834,000
C	栗山町	300,000	239,000	196,000	212,000	212,000	883,000
C	上富良野町	275,000	209,000	179,000	189,000	189,000	750,000
C	斜里町	291,000	234,000	190,000	213,000	213,000	770,000
C	日高町	252,000	207,000	189,000	194,000	194,000	720,000
C	浦河町	255,000	203,000	175,000	184,000	184,000	700,000
C	別海町	306,000	246,000	222,000	234,000	234,000	847,000

11町村

計	3,162,000	2,519,000	2,146,000	2,291,000	2,291,000	8,601,000
平均	287,455	229,000	195,091	208,273	208,273	781,909

第69回町村議会実態調査 区分B抽出(報酬)

区分B:人口5千人以上～1万人未満

区分	町村名	議長	副議長	議員	常任委員長	議運委員長	町村長
		報酬額	報酬額	報酬額	報酬額	報酬額	給料月額
B	松前町	300,000	240,000	210,000	220,000	190,000	744,000
B	江差町	245,000	205,000	185,000	190,000	190,000	820,000
B	せたな町	235,000	190,000	165,000	175,000	175,000	750,000
B	共和町	282,000	221,000	187,000	201,000	201,000	710,000
B	南幌町	295,000	236,000	195,000	214,000	214,000	754,000
B	新十津川町	305,000	247,000	215,000	228,000	228,000	784,000
B	鷹栖町	250,000	190,000	165,000	175,000	175,000	730,000
B	東神楽町	249,000	195,000	168,000	177,000	177,000	700,000
B	当麻町	250,000	195,000	170,000	180,000	180,000	750,000
B	東川町	261,000	208,000	176,000	186,000	186,000	775,000
B	美瑛町	300,000	240,000	200,000	210,000	210,000	810,000
B	羽幌町	275,000	225,000	200,000	210,000	210,000	860,000
B	枝幸町	285,000	225,000	205,000	215,000	215,000	741,000
B	湧別町	280,000	230,000	190,000	205,000	205,000	760,000
B	大空町	282,000	232,000	190,000	210,000	210,000	750,000
B	洞爺湖町	284,000	233,000	185,000	209,000	209,000	807,000
B	安平町	280,000	230,000	200,000	210,000	210,000	743,000
B	むかわ町	283,000	224,000	190,000	204,000	204,000	700,000
B	新冠町	280,000	230,000	205,000	210,000	210,000	720,000
B	士幌町	310,000	245,000	195,000	218,000	218,000	750,000
B	鹿追町	316,000	249,000	205,000	225,000	225,000	750,000
B	新得町	296,000	233,000	188,000	208,000	208,000	766,000
B	清水町	275,000	219,000	183,000	195,000	195,000	700,000
B	大樹町	286,000	227,000	185,000	203,000	203,000	725,000
B	広尾町	294,000	235,000	185,000	210,000	210,000	740,000
B	池田町	296,000	234,000	185,000	204,000	204,000	732,000
B	本別町	292,000	230,000	185,000	204,000	204,000	747,000
B	足寄町	300,000	235,000	188,000	210,000	210,000	740,000
B	厚岸町	307,000	245,000	193,000	219,000	219,000	817,000
B	浜中町	313,600	254,600	204,600	228,600	228,600	791,000
B	標茶町	300,000	240,000	190,000	214,000	214,000	843,000
B	弟子屈町	292,000	234,000	184,000	209,000	209,000	832,000
B	白糠町	313,600	255,600	204,600	230,600	230,600	783,000

33町村

計
平均

9,412,200
285,218

7,532,200
228,248

6,276,200
190,188

6,807,200
206,279

6,777,200
205,370

25,124,000
761,333

議会に関するアンケート集計表(R6.11.18現在)

項目	集計	回答数	構成率 質問単位	構成率 回答総数
【1】現在の議員定数(14名)についてどう思いますか？:現状で良い	39	259	15.1%	15.0%
【1】現在の議員定数(14名)についてどう思いますか？:多い	203		78.4%	78.1%
【1】現在の議員定数(14名)についてどう思いますか？:少ない	4		1.5%	1.5%
【1】現在の議員定数(14名)についてどう思いますか？:分からない	13		5.0%	5.0%
【2】上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックをつけてください。				
【2】(複数回答可):人口が減少している	178	684	26.0%	68.5%
【2】(複数回答可):財政面を考えて	100		14.6%	38.5%
【2】(複数回答可):立候補者が少ない	43		6.3%	16.5%
【2】(複数回答可):幅広い住民意見が反映されなくなる	25		3.7%	9.6%
【2】(複数回答可):多様な人材確保が必要	37		5.4%	14.2%
【2】(複数回答可):議員の資質に疑問を感じる	121		17.7%	46.5%
【2】(複数回答可):議会の弱体化に繋がる	18		2.6%	6.9%
【2】(複数回答可):議員の活動が分からない	99		14.5%	38.1%
【2】(複数回答可):複雑な行政課題に対応する	22		3.2%	8.5%
【2】(複数回答可):その他	41		6.0%	15.8%
【3】【2】で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	0			
【4】現在の議員報酬についてどう思いますか？:現状で良い	96	258	37.2%	36.9%
【4】現在の議員報酬についてどう思いますか？:多い	52		20.2%	20.0%
【4】現在の議員報酬についてどう思いますか？:少ない	71		27.5%	27.3%
【4】現在の議員報酬についてどう思いますか？:分からない	39		15.1%	15.0%
【5】上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックをつけてください。				
【5】(複数回答可):人口が減少している	77	545	14.1%	29.6%
【5】(複数回答可):議員の資質に疑問を感じる	76		13.9%	29.2%
【5】(複数回答可):なり手不足に対応	67		12.3%	25.8%
【5】(複数回答可):議員の活動が分からない	76		13.9%	29.2%
【5】(複数回答可):他業種との比較から	43		7.9%	16.5%
【5】(複数回答可):専業でできる報酬が必要	63		11.6%	24.2%
【5】(複数回答可):財政面を考えて	66		12.1%	25.4%
【5】(複数回答可):活動量に見合っていない	47		8.6%	18.1%
【5】(複数回答可):その他	30		5.5%	11.5%
【6】【5】で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	0			
【7】ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていれば良いと思いますか？				
【7】(複数回答可):議会活動の見える化	134	552	24.3%	51.5%
【7】(複数回答可):子育てと両立できる環境	80		14.5%	30.8%
【7】(複数回答可):専業でできる程の報酬	70		12.7%	26.9%
【7】(複数回答可):議員としての仕事量が把握できれば	110		19.9%	42.3%
【7】(複数回答可):定員の増加	1		0.2%	0.4%
【7】(複数回答可):兼業がしやすい環境	82		14.9%	31.5%
【7】(複数回答可):福利厚生の実施	38		6.9%	14.6%
【7】(複数回答可):事業の後継者がいれば	13		2.4%	5.0%
【7】(複数回答可):その他	24		4.3%	9.2%
【8】【7】で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	0			
【9】◇性別:男	169	253	66.8%	65.0%
【9】◇性別:女	80		31.6%	30.8%
【9】◇性別:その他	4		1.6%	1.5%
【10】◇年齢:10代	1	257	0.4%	0.4%
【10】◇年齢:20代	7		2.7%	2.7%
【10】◇年齢:30代	22		8.6%	8.5%
【10】◇年齢:40代	42		16.3%	16.2%
【10】◇年齢:50代	46		17.9%	17.7%
【10】◇年齢:60代	63		24.5%	24.2%
【10】◇年齢:70代	59		23.0%	22.7%
【10】◇年齢:80代以上	17		6.6%	6.5%
【11】◇職業:自営業	43	255	16.9%	16.5%
【11】◇職業:会社員	52		20.4%	20.0%
【11】◇職業:公務員	26		10.2%	10.0%
【11】◇職業:主婦	40		15.7%	15.4%
【11】◇職業:農林業	15		5.9%	5.8%
【11】◇職業:無職	48		18.8%	18.5%
【11】◇職業:学生	2		0.8%	0.8%
【11】◇職業:その他	29		11.4%	11.2%
【11】◇職業:その他コメント	0			0.0%
回答数		260		100.0%
構成率		100.0%		

議会に関するアンケート「その他自由記述」(R6.11.18現在)

[illegible]

議会に関するアンケート「その他自由記述」(R6.11.18現在)

議員定数	議員定数：現状で多い	議員報酬：現状で良い	議員報酬：現状で多い	議員報酬：少ない	議員報酬：分からない	現在の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
(1)現在の議員定数(14名)についてどう思いますか？ (2)[f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	町民代表でありにもかかわらず、住民会などの行事に消極的。 町の声を聞くために、多種多様な講演会や集まり事に足を傾けて頂きたい。叶わない願いとも思っています。町の代表者に聞いてもらいたくも思っていますが、なかなか……。選挙の時だけ。 立候補者が少なければ誰でもなれるようにはいけません。 議会の傍聴に行く。議員が怒鳴り声で発言するのはやめて欲しい。 民間の会社なら、ハラスタメントで訴えられる。もう大声で怒鳴る時代は終わってしまえ。まずは議員としての姿勢を正していただきたい。 一生懸命活動している方と、全く活動していない方がいるように思う。 もっと少なくしたいと思う。	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
14名に対する得票数、下位の議員は、町民から支持されていないのではないかと感じた者や神楽坂のない者は、恥を知るべき。※このアンケート用紙自体無駄使い。 年齢層が高まっている気がするのと議員も自分の年代で考えてしまっていると 2006年の人口と、2024年の人口を比較しても、人口減少はかんたん進んでおり、人口に属合った議員数を考えると10名が妥当だと思います。	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
人口1000人に1人〜10人 人口800人以上にして、議員1名分の割合が良いのではないかと。議員定数を減じ、議員報酬を現状の手算枠内で議員に分配しただけ議員に専念できる環境を整える。	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
議員になるときは上富良野に何かしようと思っていたと思いますが、何も変わらないです。	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
みなさんがなっていてほしい。 10名でいい。常任委員会が必要なし。現在2つある常任委員会を1つに統合する。住みよい町づくりプロジェクトに移行していくべき。 人口1万人を超えている。自治体も小さくない税収入も増えているのに議員報酬はそのまま。抱えていない議員ばかり。本当に上富良野になってほしいという声も聞きます。 町・人口に対して議員定数が多い。1000人で1名という指標からも10名で最高と思う。立候補者が足りないから出れば受かるという考えはいらないものではないでしょうか？若手世代議員が必要なし。議員としての目覚めが必要です。町民の生活平均額を考えると300万は少ないとは思えない。	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
議員の人数は10人で	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
近隣の市町村に比べ定員が多すぎる。大体人口1千人あたり1名が妥当であり10名でいい。財政的に厳しい町政に議員はあまり実用しても意味がない。今後ますます人口が減少するのは現実であり町民の負担が大変。 今の上富良野を今のように目指していけるのかを聞いてみたい。今、上富良野は希望はない。せめてキャンプ場だけで満足してほしい。	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他
他町議員の数がわからないので、比較はできないが、議員の皆さんそれなりに活躍されているとは思いますが。 無投票になったことはない。時期尚早かなと思えます。 議員報酬は、現状維持または上げても(2〜4割)良いと思います。 必要とする事案を減らす事は議員の皆さんのためだと思います。 今まで人口1000人に1人の割合でお選んでいたが1000人に1人では議会の運営に支障をきたしかねないのでは2名くらい良いなら良い減らさず2名で12名くらいなら良いと思います。	1	1	1	1	1	現任の議員報酬についてどう思いますか？ [e][f]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような環境や条件が整っていると思いますか？ [g][h]で「その他」を回答された場合その理由をお書きください。	性別：男 性別：女 性別：その他	年齢：1代 年齢：2代 年齢：3代 年齢：4代 年齢：5代 年齢：6代 年齢：7代 年齢：8代以上	職業：公務員 職業：会社員 職業：自営業 職業：学生 職業：主婦 職業：無職 職業：その他

議会に関するアンケートのお願い

こちらの二次元コード
からも回答できます。



議員の人数と
報酬について
あなたの声を聞かせ
てください



現在、上富良野町議会では、議員の適正な人数と報酬についての検討を行っています。皆様のご意見もお聞かせいただきたくアンケートにぜひご協力ください。

質問1.現在の議員定数（14名）についてどう思いますか？

- ☐ 現状で良い ☐ 多い ☐ 少ない ☐ 分からない

〈参考〉 1966年に26名→20名、2002年に20名→18名
2006年に18名→14名（現在の議員定数）

質問2.上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックを付けてください。 （複数回答可）

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ☐ 人口が減少している | ☐ 財政面を考えて |
| ☐ 立候補者が少ない | ☐ 幅広い住民意見が反映されなくなる |
| ☐ 多様な人材確保が必要 | ☐ 議員の資質に疑問を感じる |
| ☐ 議会の弱体化に繋がる | ☐ 議員の活動が分からない |
| ☐ 複雑な行政課題に対応する | |
| ☐ その他（自由記述） | |

（裏面に続く）

質問3.現在の議員報酬についてどう思いますか？

☐ 現状で良い ☐ 多い ☐ 少ない ☐ 分からない

〈参考〉現在の議員の報酬は179,000円/月、期末手当を含めた年額は約307万4千円です。
報酬額は「特別職報酬等審議会」で話し合われ決められています。

質問4.上記の質問に回答した理由に近い項目にチェックを付けてください。 (複数回答可)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 人口が減少している | ☐ 議員の資質に疑問を感じる |
| ☐ なり手不足に対応 | ☐ 議員の活動が分からない |
| ☐ 他業種との比較から | ☐ 専門でできる報酬が必要 |
| ☐ 財政面を考えて | ☐ 活動量に見合っていない |
| ☐ その他（自由記述） | |

質問5.ご自身や新しい人が議員に立候補するにはどのような 環境や条件が整っていれば良いと思いますか？ (複数回答可)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ☐ 議会活動の見える化 | ☐ 子育てと両立できる環境 |
| ☐ 専門でできる程の報酬 | ☐ 議員としての仕事量が把握できれば |
| ☐ 定員の増加 | ☐ 兼業がしやすい環境 |
| ☐ 福利厚生の実施 | ☐ 事業の後継者がいれば |
| ☐ その他（自由記述） | |

※回答された方についてお答えください

- ◆性別 ☐ 男 ☐ 女 ☐ その他
- ◆年齢 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代
☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上
- ◆職業 ☐ 自営業 ☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ 主婦
☐ 農林業 ☐ 無職 ☐ 学生 ☐ その他（_____）

“ご協力ありがとうございました”

アンケートは町民ポストに投函、FAX(45-5362)で送信、または、二次元コードより
ご回答ください。 回答は、11月15日までにお願いいたします。

令和5年11月6日開催 議会懇談会の参加者意見要旨

会場	テーマ「議員定数と報酬」
東中会館 18名	・議員定数に関しては現状選挙が行われており、欠員しているわけではない。近郊の自治体と比べても多くないと思う。 ・報酬に関しては、美瑛町が同じくらいの人口で20万。昔から美瑛のほうが少し高いが、できれば次の選挙でそれくらいに追いつけるような報酬になれば良いと思う。決して高い報酬ではないと思う。議員報酬だけでは生活できない。定職で仕事を持っている自営業か、拘束されないような仕事や年金受給者でないといけないのが現状。若い人に育ってもらうにはもう少し上げないとだめかなと思う。 ・多いか少ないかまだ分からない。判断できない。 ・報酬も定数ももう少し上げたほうが良いと思う。 ・定数に関しては仕事をする上でどれくらいの数が一番良いのか、がつつり減ると議会の運営に支障をきたす。多過ぎてもただいるだけだと思ってしまう。 ・報酬は倍くらい上げて議員さんたちにプレッシャーをかけても良いと思う。 ・議員の数が増えると町民の意見が聞けるというのはどういうことか。 ・最近の人口が1万人をきっている。住民1,000人に対して議員1人と言われている。これから人口は増えないと思う。当然減らしていくのが現状。 ・投票率が落ちているのは考えなければいけない。選挙に対する関心がなくなっている。定数は人口と共に減らすべきだと思う。 ・価も上がってきているため報酬も上げるべき。 ・報酬などは誰が決めているのか。どういう基準で決まるのか。町政も会社のように人口が減れば給料人も減らすべき。世間の給料の一般論に沿って決めていただきたい。 ・人口の流れも見るべき。額を年功で変動制にするのも悪くないと思った。 ・定数については、今の人数でまわしているのにはそれなりの理由があるのだと思うのでそのままが良いと思う。 ・知識のある人を議員につけて活動できないのか。 ・報酬はどれくらいもらっているのか気になっていた。仕事にもよると思うが安い気がする。定数を減らすと経費は低くなる。人が減ると仕事の負担は増えるのか。定数を減らして報酬を増やしてはどうか。
JA上富良野事務所 2名	・一般質問もよくしていただいていると思うし、議会だよりもよく書かれているので良いと思う。14人の定数が長い歴史がある。 ・議員の活動や日数などがわかっていないが、感覚としては二人は削減しても良いかと思う。それ以降は段階を踏んでいくべきと思う。上ふらののは、常に選挙がある。議会には資質がある方になってほしい。ただ、減らすと新しい方が出ずらくなる可能性がある。固定票の関係もある。 ・人口が減ったから減らさないといけないというのは言い訳でしかない。いろんな職業とか立場とかがある。 ・町議の段階の報酬で、議員だけで食べていけるかというとうどうなのかと思う。市議であれば30万円あるから何とかなるかもしれないが、町議は厳しいと思う。若い方が出てこないのはそういった問題もある。会社を辞めて出ると言ったら50歳は過ぎてしまう。無理に定数を減らすことではないのかと思う。 ・報酬については、もう少し上げて良いと思う。選挙のこともあるし。ただ、上げすぎてあてにされても困る。資質のある方がなってくれば文句はないと考える。 ・選挙については、議員定数が決まっていて、枠の中であれば議員になれてしまうことはどうかとおもう。 ・議員の職業のバランスは良いと思う。あと、女性ももう少しいても良いとおもう。若い女性は、旦那が職業についていれば出れると思うが。 ・農家の面積が親の時より大きくなっている。活動の日などが拘束されるときびしいことである。今の農家機器が若い方でないとか扱えない。
かみん 20名	・定数も報酬も増える考えはないと思っている。議会としてどのように捉えているか。 ・昨年町民ポストを利用して、議会改革の推進についてどのように進んでいるのか、やれることからやった方が良いのではないかと要望した。回答の結論について教えてほしい。 ・私は12名が適正だと思う。常任委員会は6名ずつ。そこに町民の意見を反映させるために町民とのワークショップをやりながら進めていけば、より良いものになるのではないかとと思う。報酬についてはせめて現状維持。 ・議員数は1,000人に1人くらいが一番適当ではないかと考えた。9名くらいが妥当だと思う。報酬は今のままでいいが、プラスアルファがあっても良いと思う。活動費を与えるのはどうか。 ・議員定数の適正はよくわからないところはあるが、アンケートを事前に回答して色々考えさせられた。周りによく活動している議員がいる。どんなことをしているかが見えるすぐく活動している議員もいるが、正直何をしているのか見えない部分もある。そう考えるとこの議員定数で良いのか？少なくとも良いのではないかと感じた。報酬については、条件などについて考える機会となったが、正直わからない。たくさん活動している議員には専業できるくらいの報酬があっても良いと思う。 ・定数は10名くらい。兼業という考えもあるが、そちらに引っ張られてしまう気がする。一本立ちできるくらいの報酬が良いと思う。兼業というか専業というか、兼業でも良いが、独り立ちできるほどの報酬がやはり良いと思う。議員の本来の活動からかけ離れてしまう。報酬を高いという考えを持つ方もいるかもしれないが、もう少し高くても良いと思う。民間と比べても報酬を多くもらっている方もいる。 ・今の意見を聞くと上げて良いと思う。議員定数を減らしてその分一人一人の報酬を上げる。 ・定数は課題によって変わってくるのではないかと。課題が複雑になると人数的に困難なこともあると思う。報酬は減らすべきではない。これだけの最高の景色の中でなぜ観光にもう少し力を入れないのか。そういう課題もまだまだ山積されている。今の議員定数で本当に足りているのかと思う。 ・町の課題は山積している。政策サポーター制度を取り入れて対処していつてはと思う。町民とのワークショップなどを講じて仕組みづくり、環境づくりが必要。今の状況だと議員の活動が見えないため報酬を上げる考えはない。 ・昔懇談会をやった際、1,000人に一人が妥当という意見が大多数だったと思う。当時よりは上がっているが、専業にできるくらいの報酬にしたほうが良いと思う。179,000円では少ないと思う。定数を減らした分報酬を増やすといいと思う。 ・京都からきて12年目になる。町民の提訴を行った者である。上富良野に来てすぐく良い町だなと思っているが、良い所を見い出せていない。なんでこんなところに来たの？と言われる。発信が議員からも少ない。富良野や中富良野と比較して何が違うのかは、ブランド力であるという話を聞いたことがある。ブランド力の発信は誰がするべきなのか。自分が来たときにはツルハのところにお店が集まっていて、便利なお店にきたと思ったがみんな無くなり、ポストもなくなった。車がないと郵便も出せない。そういった意見を言うところもない。兼業だと179,000円で良いが、専業で子育てがあればもう少し上げないとけないと思う。議員定数が減っても報酬を多くし、汗を流してほしい。 ・1,000人に1人という議員の考え方はやめた方が良い。村だと1人しか置けない議会が出てくる計算になる。最低何名いれば議会と

してやっていけるかが重要だと思う。

- 町民の意見を集約してもらうために議員がいる。議員定数について考えることも大切だが、SNS を活用しても良いので町民の声が町に届くようなしくみをつくってほしい。名前は知っていてもどういうことに詳しい方で、どの議員に相談したら良いのかわからない。思いはあっても壁があるように感じる。議員と町民が意見しやすい環境が必要。
- 今回すごく良いなと思ったのが、親しみやすい懇談会の告知であった。これを見て本日参加した。議員報酬についてはもっと多くても良いのかなと仲間内で話をしていた。なり手を考えたときに専業できる報酬だと良いと思った。
- 今回初めて参加した。美瑛や富良野と比べると置き去りにされている感覚がある。どうしてなのか考えた。議員なのか、町民なのか。みんなの責任だと思うが、その課題を一生懸命やってくれる議員がいたら多い少ないという問題ではないと思う。報酬は安いと感じている。
- 若い人が出たいとなってもこのままだと生活が成り立たない。報酬を上げたら良いと思う。東川など他の町ではどんどん人口が増えているところもある。上富良野町も大企業を誘致して働きやすい町づくりをしたり、補助を出したりしていったほうが良い。
- 議員定数に関してはよくわからないが、現状維持かなと思っている。父が議員をやっていたが、報酬と聞いたときは少ない印象があった。会社員が議員を目指すとしたら少ないと思う。自営業の方しか議員になれない環境である。上げてもいいと思う。〇〇さんは40年以上議員をやってきてどう思っているか。
- あくまで個人の考え。人口は減少しているが、極端に減っているのではない。定数を減らすと様々な業種、年代の方が出にくくなる。女性の社会進出も必要。現状維持しながら議会が分かりやすくなる仕組みなどが必要と考える。町民の方と話し合いや、発信していく意味でも現状維持が良いと思う。

議員報酬の適正化に関する特別決議

町村議会議員のなり手不足問題が深刻化している。

この問題には様々な要因が絡み合っているが、都道府県議会議員、市区議会議員と比べて著しく低い議員報酬（全国平均月額約21万7千円）が大きな影響を及ぼしていることは明らかである。

町村議会の議員報酬月額の水準は、全国的に見ても、永きにわたり、町村長の給料月額の約30%程度に据え置かれたままであり、それだけでは生計を維持できないほど低水準であることが指摘されている。

こうしたことを踏まえ、全国町村議会議長会は、議会・議員の活動量と長の活動量を比較し、活動内容を住民に明示することを通じて、議員報酬を考える「活動内容を踏まえた原価方式」を議員報酬の算定方法として全国展開しており、このことは、国の第33次地方制度調査会の答申（令和4年12月）においても肯定的に捉えられている。

今こそ、我々町村議会は、議会に多様な人材の参画を促す観点から、更なる議会改革を進め、議会・議員の活動量を豊富化し、住民の理解を得ながら議員報酬の適正化を図っていく所存である。

よって、町村長各位におかれては、我々町村議会の取組に理解をいただいた上で、以下の点についてご留意されるよう、要請する。

記

- 1 議員報酬の検討に当たっては、類似団体や近隣町村との比較のみにとらわれることなく、議会が導き出した結論（活動内容を踏まえた原価方式により算定された議員報酬額等）について、十分尊重されたいこと。
- 2 議員報酬の検討に当たって、特別職報酬等審議会の意見を聴く場合は、審議会の運営等について、次の事項に留意すること。
 - (1) 審議会委員には議会の活動状況を把握している者を選任すること。
 - (2) 議会側に意見陳述の機会を付与すること。
 - (3) 議会・議員の活動状況を単に審議日数のみで捉えることなく、住民との対話や日常の議員活動など活動量や活動内容を踏まえ検討すること。
 - (4) 類似団体や近隣町村との単純な比較のみにより議員報酬の水準を決定しないこと。
 - (5) 議会費の総額ありきの考え方から議員報酬を増額する代わりに議員定数を安易に削減することのないようにすること。

以上、決議する。

令和6年6月11日

北海道町村議会議長会
第75回定期総会

議会・議員活動の豊富化、議員報酬の適正化に関する決議

地方分権改革の進展や各町村議会における議会改革の取組により、町村議会議員の活動量は増加しているが、その議員報酬の水準は30年以上ほぼ変化のないままとなっており、都道府県議会議員、市議会議員と比べ著しく低い水準となっている。現在、町村議会議員のなり手不足問題が深刻化しているが、このことが要因の一つと考えられる。

このような中、全国町村議会議長会においては、令和6年5月22日に議会に多様な人材の参画を促す観点から、更なる議会改革を進め、議会・議員の活動量を豊富化し、住民の理解を得ながら議員報酬の適正化を図っていくことを決議したところである。

議会・議員の活動及び議員報酬の水準については、各町村議会において判断するものであるが、地方自治における議会の重要性を考えた場合、全国の町村議会が一定水準以上の活動をし、議員報酬の水準を確保していくことが重要である。

このため、各町村議会の活動内容を充実し、住民の理解を得て、市議会議員との均衡を踏まえ、町村長の給料月額の47%程度を目指すこととする。

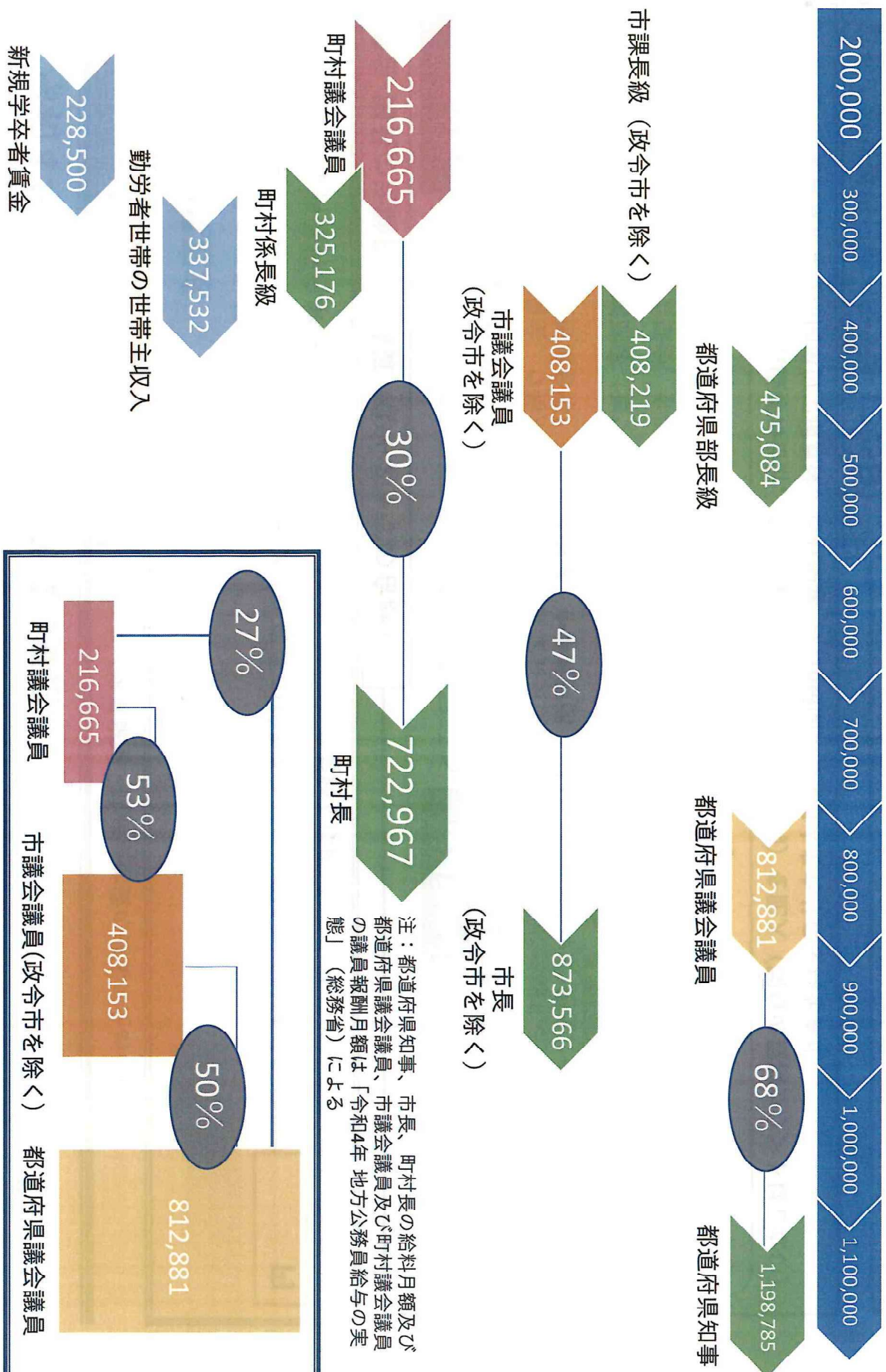
今後、全国町村議会議長会では、これを目標として各都道府県町村議会議長会と一致協力して、更なる議会改革を進め、議会・議員の活動量の豊富化と議員報酬の適正化に向けて取り組むことをここに誓う。

以上、決議する。

令和6年7月10日

全国町村議会議長会
都道府県会長会

① 地方議会議員の議員報酬の実態



② 令和4年モデルによる議員報酬額の算定

原価方式の算定モデル（令和4年モデル）

第2章／議員報酬・政務活動費の充実のための提言

議員報酬額の算定式

(1) 議会・議員の活動日数

(2) 首長の職務遂行日数

× (3) 首長の給料

円 = (4) 議員報酬額

円

→ 首長の給料実額を採用

(1) 議会・議員の活動日数の積算（①+②+③の合計）

議会活動

① 本会議・委員会・協議調整の場・派遣（※¹）

日

ア本会議、イ常任委員会、ウ特別委員会、エ議会運営委員会、オ協議調整の場（全員協議会等）、カ議員派遣、キ委員派遣

② 法定外会議・住民との対話等（※¹）

日

ア法定外会議（任意協議会、会派代表者会議、議員懇談会等）イ議会としての住民対話（議会報告会、住民懇談会、意見交換会等）、ウ研修会、エ視察受入れ、オその他

議員活動

③ 日常の議員活動（※¹※²）

日

ア①②に付随する活動（議案の精読、議案の作成・提出、一般質問・質疑・討論準備、各種報告書の作成、議会活動に係る調査・研究等）、イ議員としての住民対話（請願・陳情対応、住民からの相談対応、情報収集、広報活動等）、ウ公的行事への出席、エその他

※¹実際の活動日数（①・②は会議等の合計、③は活動日数の1人あたり平均）を記入（同日の重複カウントはしない）

※²議員の活動調査により時間単位で積算後、日数換算（1日8時間）して1人あたりの平均を算出

(2) 首長の職務遂行日数（モデル：305日）

○ 年間305日の職務遂行日数をモデル値として設定

首長の職務遂行の実態を踏まえ法定休日の半分程度を公務につくものと推定し、モデル値を算出
365日 - （土曜日・日曜日：104日 + 国民の祝日：16日）× 1/2 = 305日（※³）

※³ 首長の実際の職務遂行日数を把握できない場合のモデル値である。実際の職務遂行日数を用いてもよい

③ 議会改革の達成値としての活動量（町村議会の議員報酬を考える新たな指標）

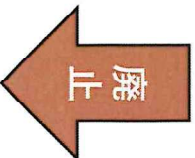
昭和53年「議員報酬の全国標準」

首長	330日	議員報酬の標準比率を 長の給料月額額の <u>30%～</u> 31%とした。
議員	103日	

議員報酬（令和4年）

概ね一致		30%
722,967円	216,665円	

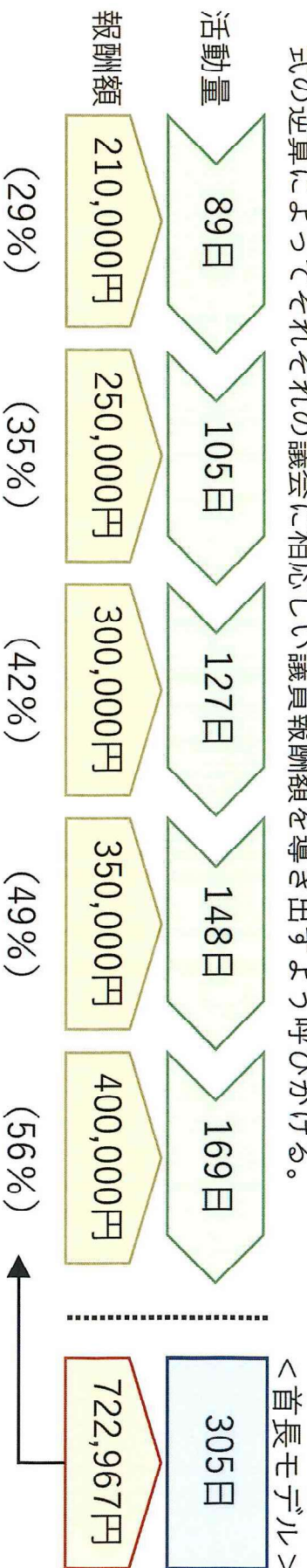
※令和4年地方公務員給与の実態
（令和4年4月1日）総務省調



- 40年以上が経過
- 議会改革の急速な発展を考慮
- 活動量豊富な議会が「全国標準」にしばられる等の弊害

町村議会の議員報酬を考える新たな指標

- 議員報酬額について一律の基準（金額・比率）を示すことは、地域性、活動量、議会改革の進捗度等の違いなどから困難なことから、議会改革の達成点としての議会・議員の活動量の基準を明示し、そこからの原価方式の逆算によってそれぞれの議会に相応しい議員報酬額を導き出すよう呼びかける。



- 議員の活動量が常勤である首長の活動量に近づけば、議員報酬に生活給的要素が増加
- 原価方式によれば議会改革に伴う議会・議員活動の豊富化により議員報酬の水準は上昇

- 地方分権改革により活動量は増加（時代背景）
- 平均報酬額は横ばい（実態）
- 報酬額を低いと感じる議員が多数（意識調査）
- 生計を維持できないほどの低水準は、なり手不足の一因

議員報酬（月額及び年間額）の積算

（単位：円）

区分	月額報酬	報酬年額	期末手当	合 計	参考
議 長	275,000	3,300,000	1,454,750	4,754,750	町長給与月額 750,000
副議長	209,000	2,508,000	1,105,610	3,613,610	副町長給与月額 612,000
委員長	191,000	2,292,000 (6,876,000)	1,010,390 (3,031,170)	3,302,390 (9,907,170)	教育長給与月額 576,000
議 員	179,000	2,148,000 (19,332,000)	946,910 (8,522,190)	3,094,910 (27,854,190)	
合 計	14人	32,016,000	14,113,720	46,129,720	

（※括弧は、委員長3人、議員9人の計、期末手当は4.60月で計算）

第69回町村議会実態調査（R5.7.1現在）より報酬比較資料

区分	全国	議員報酬 比較	全道	議員報酬 比較	加算率 案
議 長	296,006	1.36	272,217	1.47	1.5
副議長	240,274	1.10	218,168	1.18	1.2
常任委員長	224,347	1.03	198,642	1.07	1.1
議会運営委員長	224,711	1.03	197,517	1.07	1.1
議 員	218,218	1.00	184,798	1.00	1.0
町村長給料	736,464		739,722		

上富良野町議会議員選挙の結果

選挙期日	選挙事由	選挙日前月の人口（人）	当日有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）	議員定数（人）	立候補者数（人）	定数と立候補の差（人）	備考
昭和22年 4月3日	第1回統一地方選挙	12,587							
昭和25年 7月4日	(補欠選挙)				無投票	5	5		
昭和26年 4月23日	任期満了	13,261	6,349	6,233	98.17	26			
昭和27年 10月5日	(補欠選挙)				無投票	1	1		道教委と 同時選挙
昭和30年 4月3日	任期満了	16,918				26			
昭和34年 4月3日	任期満了	18,298	9,803	9,082	92.65	26			
昭和38年 4月3日	任期満了	17,673	9,690	9,058	93.48	26	32	6	
昭和38年 8月25日	総辞職	17,722	9,505	8,527	89.71	26	36	10	
昭和42年 8月2日	任期満了	18,130	9,471	8,674	91.58	20	26	6	S41.3減少 条例施行
昭和46年 8月22日	任期満了	15,429	9,938	9,367	94.25	20	29	9	
昭和50年 8月17日	任期満了	15,223	9,939	9,373	94.31	20	25	5	
昭和54年 8月12日	任期満了	15,093	9,916	9,355	94.34	20	26	6	
昭和58年 8月14日	任期満了	14,529	9,810	9,261	94.40	20	24	4	
昭和62年 8月9日	任期満了	14,136	9,822	9,060	92.24	20	22	2	
平成3年 8月11日	任期満了	13,590	9,717	8,737	89.91	20	23	3	
平成4年 12月27日	便乗 (補欠選挙)	13,277	9,757	8,631	88.46	1	2	1	
平成7年 8月13日	任期満了	13,205	9,938	8,532	85.85	20	22	2	
平成11年 8月22日	任期満了	13,079	10,052	8,491	84.47	20	21	1	
平成15年 8月17日	任期満了	12,713	10,021	8,290	82.73	18	20	2	H15.1減少 条例施行
平成19年 8月19日	任期満了	12,299	9,862	8,186	83.01	14	18	4	H19.1減少 条例施行
平成20年 11月3日	(補欠選挙)	12,209			無投票	2	2		
平成23年 8月14日	任期満了	11,821	9,491	6,759	71.21	14	15	1	
平成24年 12月2日	(補欠選挙)	11,713	9,494	7,147	75.28	1	3	2	
平成27年 8月4日	任期満了	11,185	9,112	6,551	71.89	14	16	2	
令和元年 8月18日	任期満了	10,699	8,894	6,224	69.98	14	19	5	
令和2年 11月30日	(補欠選挙)	10,534			無投票	1	1		
令和5年 8月6日	任期満了	10,024	8,481	5,134	60.54	14	16	2	

4 長の選挙

選挙期日	選挙	当日有権	投票者数	投票率	候補者別得票数				備考
	事由	者数(人)	(人)	(%)	氏名	年齢	党派	得票数	
S22. 4. 5	第1回 統一地方選挙				田中 勝次郎	60	無所属	2,556	当選1回
					佐藤 敬太郎	52	日本社会党	917	
S26. 4. 23	任期 満了	6,349	6,233	98.17	田中 勝次郎	64	無所属	3,647	当選2回
					海江田 武信	53	無所属	2,481	
S30. 4. 30	任期 満了				海江田 武信	57	無所属	4,010	当選1回
					北川 与一	45	無所属	2,190	
S34. 4. 30	任期満了			無投票	海江田 武信	61	無所属		当選2回
S38. 4. 30	任期 満了	9,690	9,058	93.48	村上 国二	58	無所属	3,707	当選1回
					海江田 武信	65	無所属	3,467	
					床鍋 正則	54	無所属	1,824	
S38. 8. 25	退職 申立	9,505	8,527	89.71	海江田 武信	66	無所属	4,252	当選3回
					村上 国二	58	無所属	3,652	
					宮野 弥三郎	60	無所属	468	
S42. 8. 20	任期 満了	9,471	8,674	91.58	村上 国二	62	無所属	4,531	当選2回
					和田 松工門	62	無所属	4,014	
S46. 8. 22	任期 満了	9,938	9,367	94.25	和田 松工門	66	無所属	4,742	当選1回
					酒匂 佑一	54	無所属	2,607	
					藤原 利雄	47	無所属	1,917	
S50. 8. 17	任期 満了	9,939	9,373	94.31	和田 松工門	70	自由民主党	6,337	当選2回
					一色 正孝	36	無所属	1,496	
					野口 光雄	55	無所属	1,400	
S54. 8. 12	任期 満了	9,916	9,355	94.34	和田 松工門	74	無所属	4,912	当選3回
					酒匂 佑一	62	無所属	4,371	
S58. 8. 14	任期 満了	9,810	9,262	94.41	酒匂 佑一	66	自由民主党	6,185	当選1回
					金子 隆一	46	無所属	2,960	
S62. 8. 9	任期満了			無投票	酒匂 佑一	70	自由民主党		当選2回
H3. 8. 11	任期満了			無投票	酒匂 佑一	74	自由民主党		当選3回
H4. 12. 27	死亡	9,757	8,631	88.46	菅野 學	68	無所属	4,913	当選1回
					尾岸 孝雄	53	無所属	3,613	
H8. 12. 8	任期 満了	10,044	8,853	88.14	尾岸 孝雄	57	無所属	4,367	当選1回
					菅野 學	72	無所属	4,357	
H12. 11. 26	任期 満了	10,113	6,686	66.11	尾岸 孝雄	61	無所属	5,540	当選2回
					斉藤 忠雄	52	無所属	881	
H16. 11. 28	任期 満了	10,123	7,917	78.21	尾岸 孝雄	65	自由民主党	4,028	当選3回
					平田 喜臣	63	無所属	3,823	
H20. 11. 30	任期 満了	9,793	8,070	82.41	向山 富夫	60	無所属	4,248	当選1回
					金子 益三	40	無所属	3,729	
H24. 12. 2	任期 満了	9,494	7,147	75.28	向山 富夫	64	無所属	4,315	当選2回
					一色 美秀	67	無所属	2,762	
H28. 11. 27	任期 満了	9,191	6,345	69.03	向山 富夫	68	無所属	3,513	当選3回
					一色 美秀	71	無所属	2,779	
R2. 11. 29	任期 満了	8,887	6,681	75.18	斉藤 繁	53	無所属	2,175	当選1回
					辻 剛	59	無所属	1,865	
					一色 美秀	75	無所属	1,651	
					佐川 泰正	67	無所属	934	